



シンプルマルチスイッチャ
MMS-601-A

取扱説明書 Ver.1.0.0

この度は、シンプルマルチスイッチャ「MMS-601-A」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。「MMS-601-A」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください
安全上のご注意

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告

 <p>指示</p> <p>・据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または当社営業部に問い合わせ下さい。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>・電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。</p>
 <p>指示</p> <p>・電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p>	 <p>プラグを抜く</p> <p>・煙が出ている、異音、異臭がするとき は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>プラグを抜く</p> <p>・落したり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 <p>プラグを抜く</p> <p>・内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>禁止</p> <p>・不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>・振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p> <p>・修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整及び修理は当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 <p>禁止</p> <p>・電源コード・電源プラグは 傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>禁止</p> <p>・異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>・電源プラグのほこりなどは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。</p>
 <p>接触禁止</p> <p>・雷が鳴り出したら電源コードやLANケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。</p>	

機器の接続について

 <p>指示</p> <p>本機器と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係する全ての機器の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。</p>	
---	--



注意

 <p>・温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない 加湿器のそばやほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>・通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・本体付属の AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは、電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>・機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	
 <p>・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>
 <p>・長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>	 <p>・使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>
 <p>・他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>	 <p>・お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>

設置についてのお願い

・ラックマウント製品の場合

 <p>指示</p>	<p>EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。</p>
---	---

・ゴム足付きの製品の場合

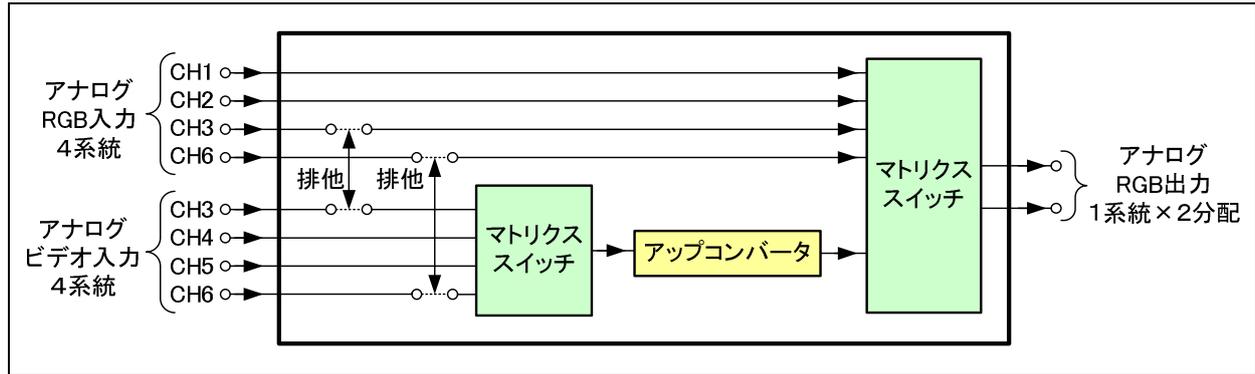
 <p>指示</p>	<p>ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。</p>
---	--

目次

1	製品概要	8
2	各部名称と働き	9
2.1	フロントパネル	9
2.2	リアパネル	10
2.3	スイッチラベルの取り付け方法	11
3	基本操作	14
3.1	出力の選択	14
3.2	メニュー操作	15
3.3	工場出荷時の設定に戻す	15
4	各種設定	17
4.1	メニュー番号	18
4.2	音声出力レベル	19
4.3	音声入力レベル	20
4.4	EDID 設定	21
4.4.1	EDID データ	22
4.4.2	EDID データのコピー	23
4.5	アップコンバータ出力 解像度	24
4.6	アップコンバータ出力 モニタ アスペクト比	25
4.7	アナログビデオ入力 オーバースキャン	27
4.8	アップコンバータ出力 水平表示位置	28
4.9	アップコンバータ出力 垂直表示位置	29
4.10	アップコンバータ出力 水平表示サイズ	30
4.11	アップコンバータ出力 垂直表示サイズ	31
4.12	アナログビデオ入力 アスペクト比	32
4.13	アナログビデオ入力 アスペクト比復元処理設定	37
4.14	アナログビデオ入力 左側トリミング	39
4.15	アナログビデオ入力 右側トリミング	40
4.16	アナログビデオ入力 上側トリミング	41
4.17	アナログビデオ入力 下側トリミング	42
4.18	アップコンバータ出力 バックカラー(赤)	43
4.19	アップコンバータ出力 バックカラー(緑)	44
4.20	アップコンバータ出力 バックカラー(青)	45

4.21	アップコンバータ出力 シャープネス	46
4.22	アップコンバータ出力 コントラスト	47
4.23	アップコンバータ出力 ブライトネス	48
4.24	アップコンバータ出力 ガンマ	49
4.25	アップコンバータ出力 サチレーション (彩度)	50
4.26	アップコンバータ出力 色相 (HUE)	51
4.27	アップコンバータ出力 ゲイン (赤)	52
4.28	アップコンバータ出力 ゲイン (緑)	53
4.29	アップコンバータ出力 ゲイン (青)	54
4.30	アナログビデオ入力 セットアップレベル	55
4.31	チャンネル 切り換えウエイト	56
4.32	出力同期信号極性	57
4.33	アナログRGB入力 同期信号終端	58
4.34	映像信号無入力時の出力映像	59
4.35	テストパターン出力	60
4.36	バージョン情報表示	61
5	ディップスイッチ	62
6	映像入出力コネクタピン配列	63
7	製品仕様	64
8	故障かな?と思う前に	66
9	ヒューズについて	67

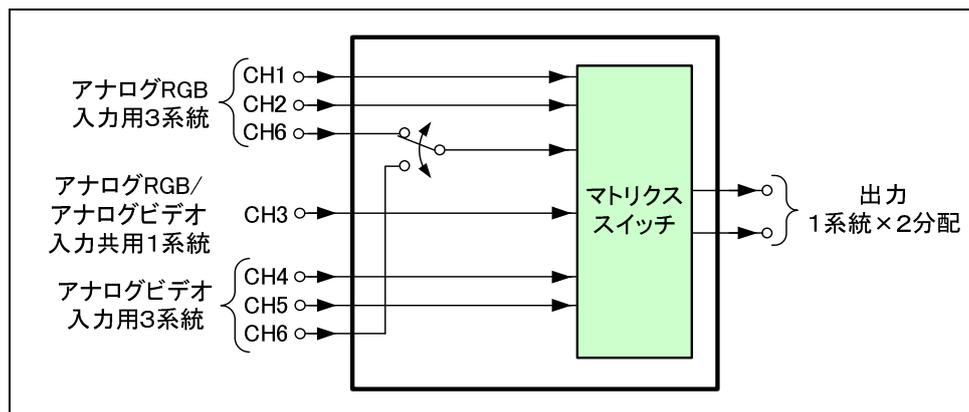
1 製品概要



[図 1.1] 映像信号の入出力構成

MMS-601-A はアナログ RGB 入力 4 系統・アナログビデオ入力 4 系統、アナログ RGB 出力 1 系統×2 分配を搭載したシンプルマルチスイッチャです(図 1.1)。入力チャンネル 3(CH3)および入力チャンネル 6(CH6)は、アナログ RGB またはアナログビデオを選択して使用します。

アナログビデオ入力には NTSC 信号または PAL 信号を入力することが可能で、アナログ RGB 信号(XGA～WUXGA)にアップコンバートし、出力します。

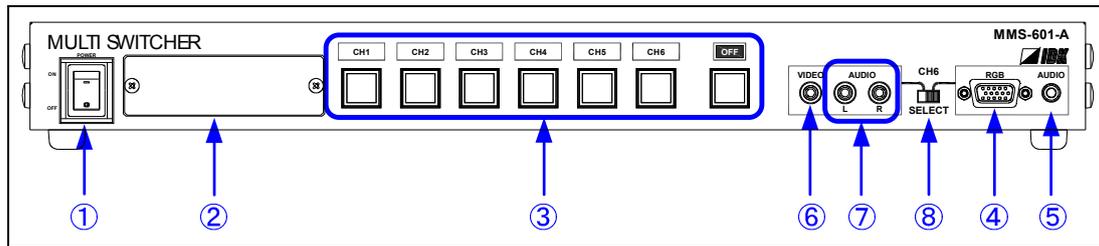


[図 1.2] 音声信号の入出力構成

また、ステレオ音声入力 7 系統、ステレオ音声出力 1 系統×2 分配を搭載しており、映像に連動して音声の切り換えを行います(図 1.2)。入力チャンネル 6(CH6)は、アナログ RGB 入力用またはアナログビデオ入力用を選択して使用します。

2 各部名称と働き

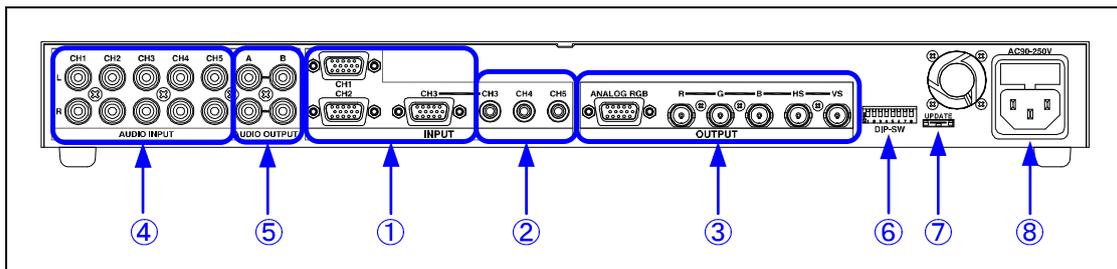
2.1 フロントパネル



【図 2.1】 フロントパネル

- ① 主電源スイッチ（POWER）
電源を投入するとフロントパネルの全 LED が点灯しハードウェアの初期化を行います。初期化が終了すると LED が消灯し、通常の動作を開始します。
- ② ディスプレイおよびメニュー操作キー
各種メニューの操作を行う場合に使用します。詳しくは 15 ページをご覧ください。
- ③ 出力選択キー（OUTPUT）
映像出力および音声出力を選択します。詳しくは 14 ページをご覧ください。
- ④ アナログ RGB 映像入力コネクタ（CH6）
- ⑤ アナログ RGB 用音声入力コネクタ（CH6）
- ⑥ アナログビデオ映像入力コネクタ（CH6）
- ⑦ アナログビデオ用音声入力コネクタ（CH6）
- ⑧ 入力チャンネル 6 切り換えスイッチ（CH6）
アナログ RGB 入力を使用する場合は右側にスライドし、アナログビデオ入力を使用する場合は左側にスライドします。

2.2 リアパネル



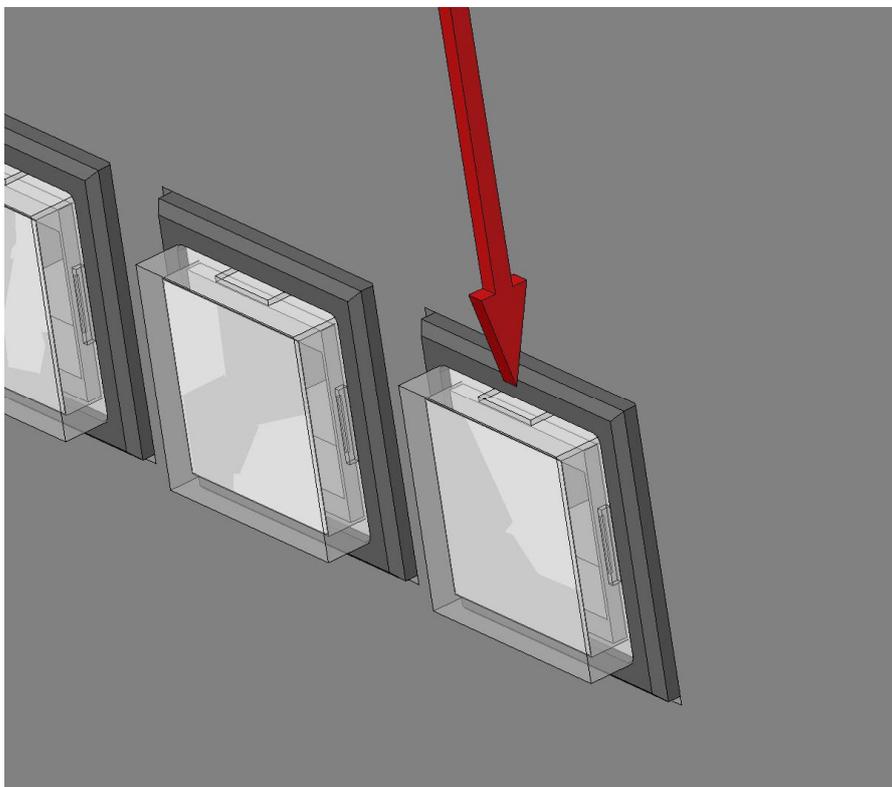
【図 2.2】 リアパネル

- ① アナログRGB映像入力コネクタ (CH1～CH3)
- ② アナログビデオ映像入力コネクタ (CH3～CH5)
- ③ アナログRGB映像出力コネクタ (OUTPUT)
出力選択キーで選択された映像が出力されます。出力は 2 分配されています。
- ④ 音声入力コネクタ (CH1～CH5)
- ⑤ 音声出力コネクタ (OUTPUT)
出力選択キーで選択された音声が出力されます。出力は 2 分配されています。
- ⑥ ディップスイッチ (DIP-SW)
入力チャンネル 3(CH3)の切り換えなどを行います。詳しくは 62 ページをご覧ください。
- ⑦ 保守用コネクタ (UPDATE)
未使用。このコネクタには何も接続しないでください。
- ⑧ 電源コネクタ (AC90-250V)

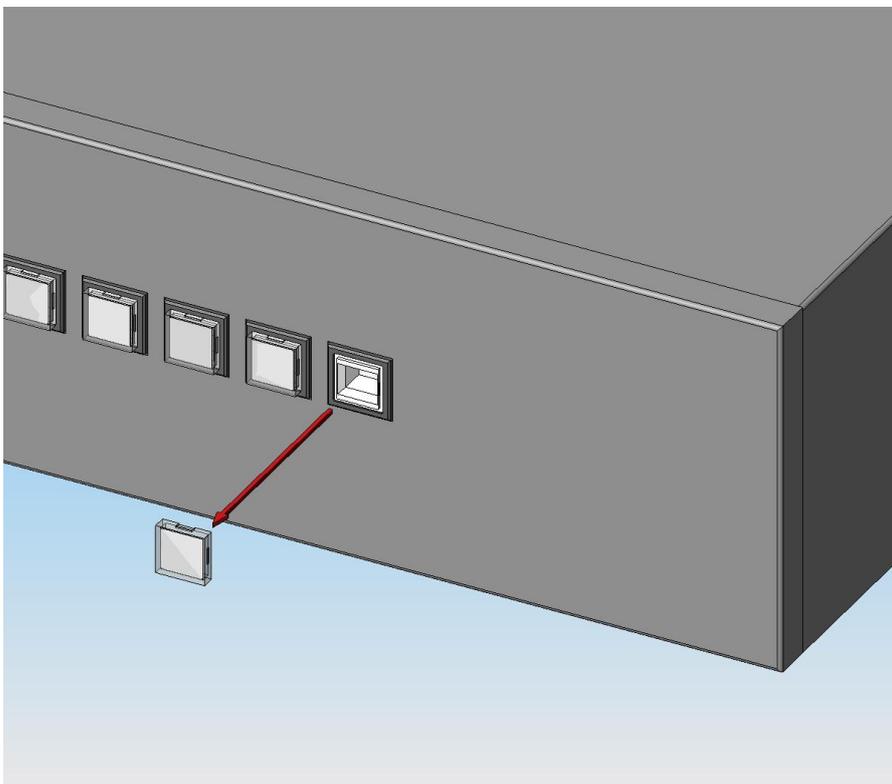
2.3 スイッチラベルの取り付け方法

フロントパネルのスイッチには任意のラベルを入れることができます。

1. 切り欠き部分を精密マイナスドライバー等でひっかけてカバーを外します。

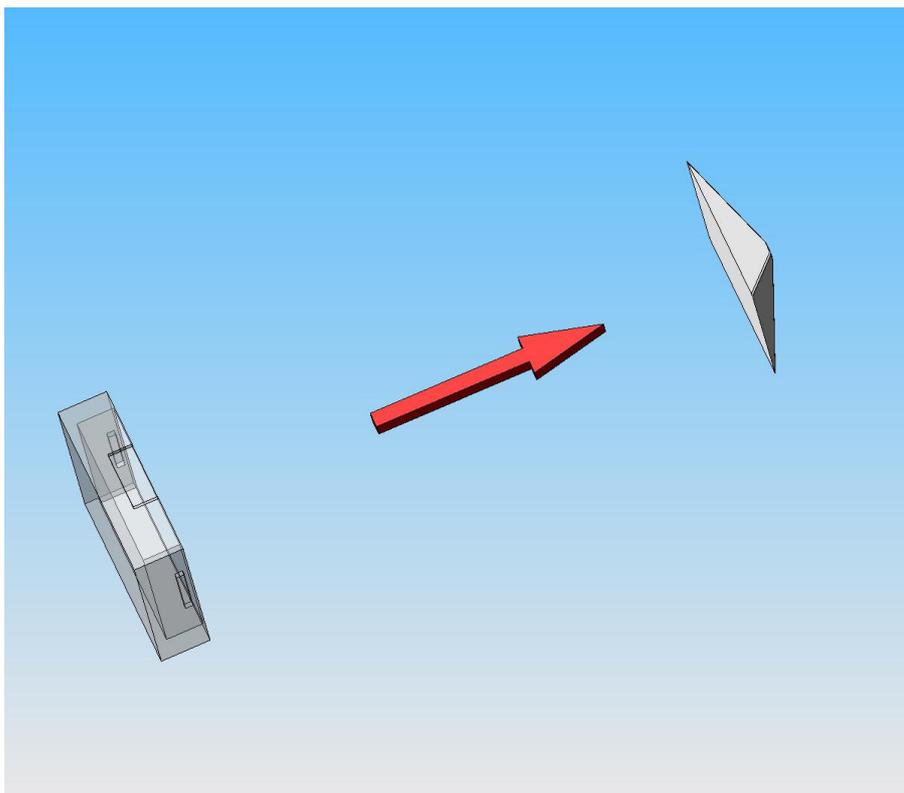


【図 2.3.1】 切り欠き部分のひっかけ



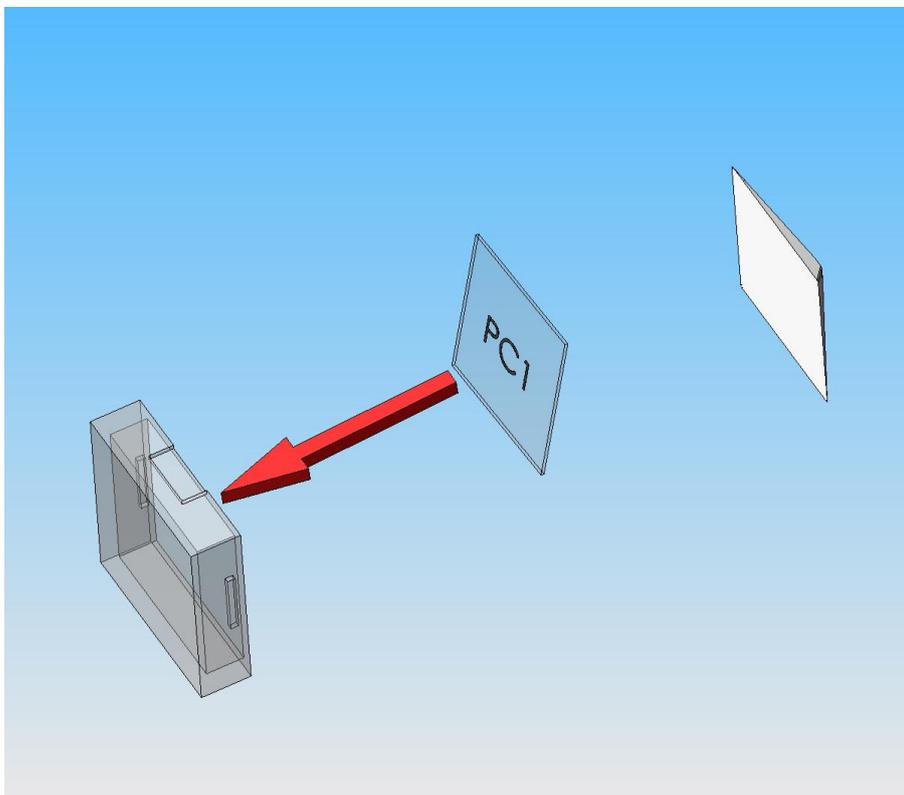
【図 2.3.2】 スイッチカバーの取り外し

2. 外したカバーの中からフィルタを取り出します



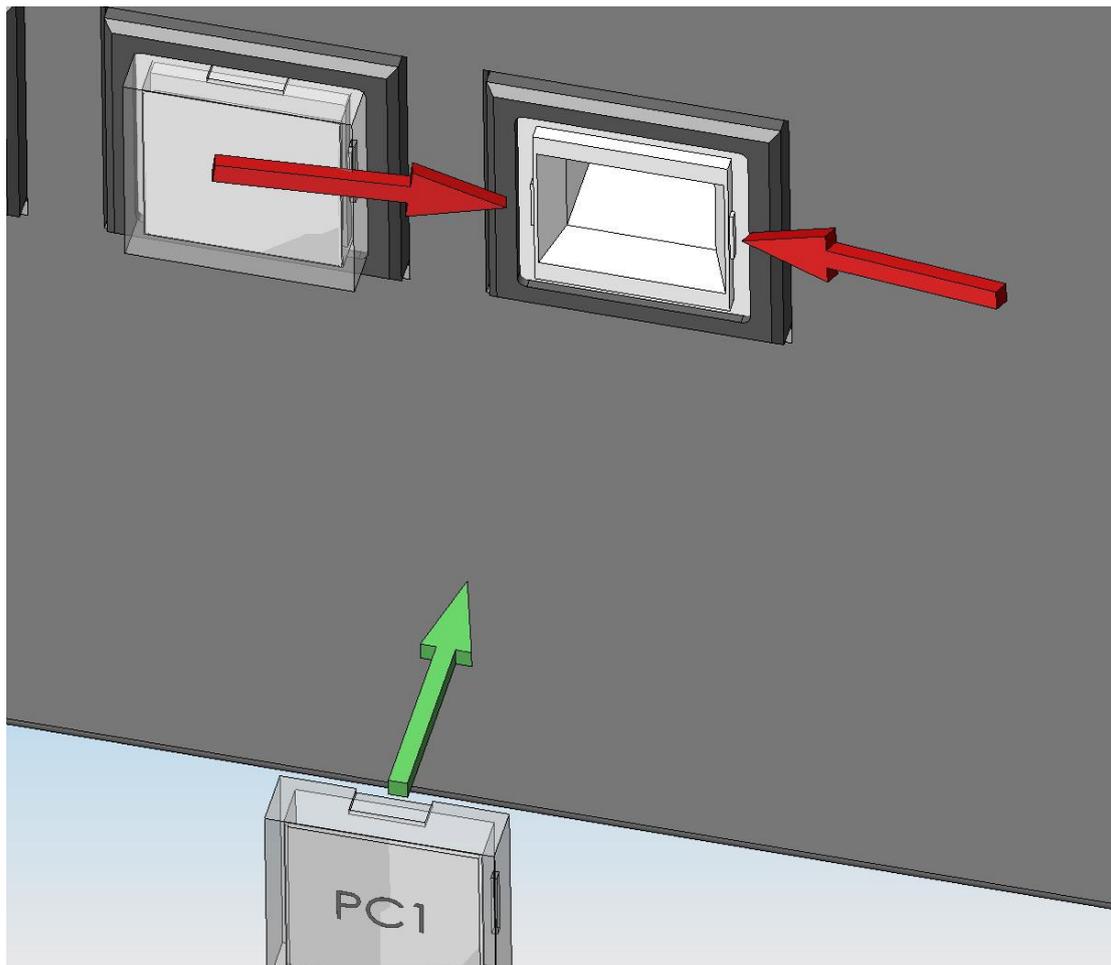
【図 2. 3. 3】 フィルタの取り外し

3. フィルタの内側へ予め用意していただいた映像ソース名などのラベルを挟みこみます。



【図 2. 3. 4】 ラベルの挿入

4. スイッチの凸部に、カバーの向きを合わせて取付けて完了です。

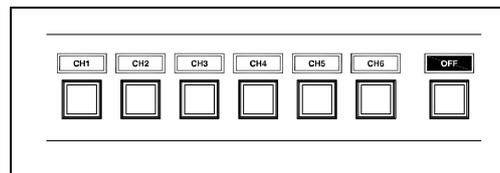


[図 2.3.5] スイッチカバーの取り付け

3 基本操作

3.1 出力の選択

出力選択キーを押すとキーLEDが点滅し、映像出力および音声出力が選択されます。映像出力および音声出力の切り換えが終了すると、キーLEDの点滅が点灯に変わります。アナログビデオ入力を選択した場合は、アップコンバート(XGA~WUXGA)された映像が出力されます。またアナログビデオ入力を切り換える場合は、通常切り換えモード(速度優先モード)とフェードアウト/フェードインモード(シームレスモード)を選択することができます。



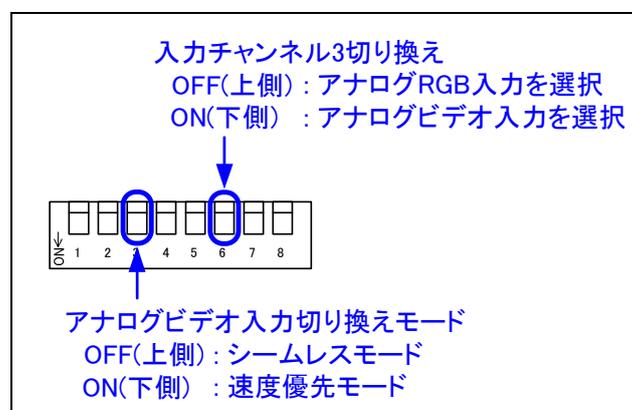
【図 3.1.1】 出力選択キー

チャンネル番号	映像入力
CH1	アナログ RGB 入力
CH2	アナログ RGB 入力
CH3	アナログ RGB 入力/アナログビデオ入力をリアのディップスイッチで選択
CH4	アナログビデオ入力
CH5	アナログビデオ入力
CH6	アナログ RGB 入力/アナログビデオ入力をフロントのスライドスイッチで選択

【表 3.1.1】 映像入力構成

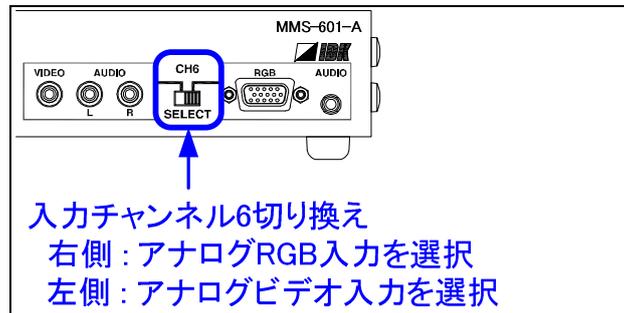
ディップスイッチの SW6 で入力チャンネル 3(CH3)の入力を選択することができます。アナログ RGB 入力を選択する場合は OFF(上側)に設定し、アナログビデオ入力を選択する場合は ON(下側)に設定します。

ディップスイッチの SW3 でアナログビデオ入力の切り換えモードを選択することができます。通常切り換えモード(速度優先モード)を選択する場合は OFF(上側)に設定し、フェードアウト/フェードインモード(シームレスモード)を選択する場合は ON(下側)に設定します。フェードアウト/フェードインモード(シームレスモード)を選択すると、切り換え前のアナログビデオ入力の映像がゆっくりと消えていき、切り換え後のアナログビデオ入力の映像がゆっくりと表示されます。ただしアナログ RGB 入力から切り換えた場合、またはアナログ RGB 入りに切り換える場合は、アナログ RGB 入力の映像は、フェードアウトまたはフェードインされません。(例:アナログビデオ入力からアナログ RGB 入りに切り換える場合は、切り換え前のアナログビデオ入力の映像はゆっくりと消えていきますが、切り換え後のアナログ RGB 入力の映像はすぐに表示されます)またアナログビデオ入力を選択している場合でも、映像信号が入力されていない場合は、フェードアウトまたはフェードインしません。



【図 3.1.2】 入力チャンネル 3 切り換えおよびアナログビデオ入力切り換えモード選択スイッチ

フロントの入力チャンネル 6 切り換えスイッチで入力チャンネル 6(CH6)の入力を選択することができます。アナログ RGB 入力を選択する場合は右側にスライドし、アナログビデオ入力を選択する場合は左側にスライドします。

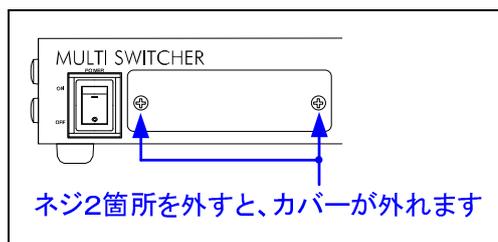


【図 3.1.3】 入力チャンネル 6 切り換えスイッチ

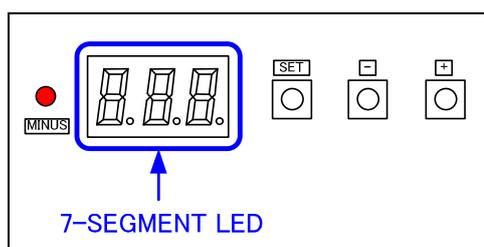
RGB 無入力時に、CH 1、CH2、CH3、CH6(アナログ RGB 設定の場合)を選択した場合はモニタには何も出力されません。ディップスイッチのスイッチ 1 を ON にすることで 4.34 映像信号無入力時の出力映像で設定した映像を出力することができます。

3.2 メニュー操作

各種メニューの操作を行います。ディスプレイおよびメニュー操作キーはカバーで隠れていますので、操作を行う場合は、ネジ 2 箇所を外しカバーを取り外してください。



【図 3.2.1】 カバーの取り外し



【図 3.2.2】 ディスプレイおよびメニュー操作キー

- | | | |
|---------------|---|----------------------|
| MINUS LED | : | 設定値がマイナスの場合に点灯します。 |
| 7-SEGMENT LED | : | メニュー番号または設定値を表示します。 |
| SET キー | : | メニュー表示、設定値の決定を行います。 |
| －＋キー | : | メニューの切換、設定値の変更を行います。 |
- 各種メニューの操作は 17 ページ以降をご覧ください。

3.3 工場出荷時の設定に戻す

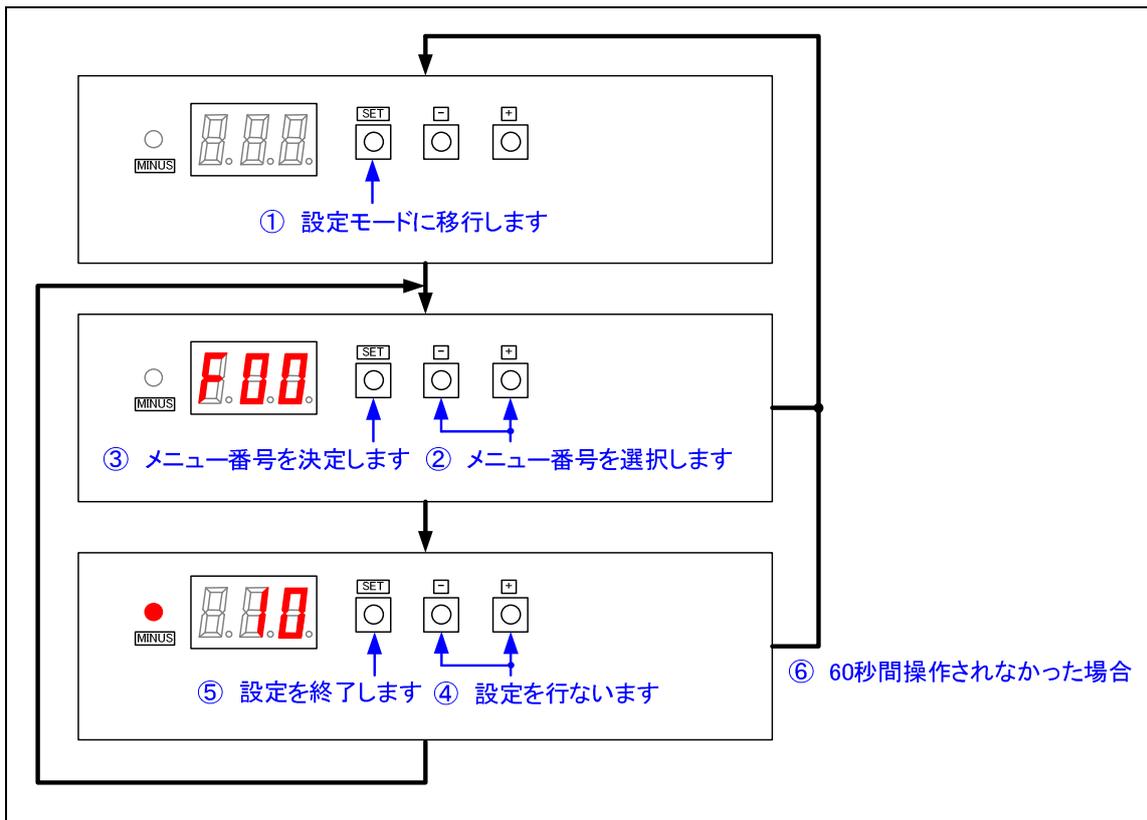
SET キーを押しながら電源を投入すると、出力の選択(出力の選択は 14 ページをご覧ください。工場初期値は OFF です)および各種設定(各種設定の詳細、および工場初期値は 19 ページ以降をご覧ください)の状態を工場初期値に戻すことができます。SET キーは長音ブザーが鳴るまで押し続けてください。長音ブザーが鳴ると初

期化が終了し、通常の動作を開始します。

4 各種設定

通常、7-SEGMENT LED および MINUS LED は消灯しています。各種設定を行う場合は以下の手順で操作を行ってください。

- ① SET キーを押すと設定モードに移行し、7-SEGMENT LED にメニュー番号(F00～F38)が表示されます。
- ② ー＋キーで設定を行うメニュー番号を選択します。
- ③ SET キーを押し、設定を行うメニュー番号を決定します。
- ④ 7-SEGMENT LED および MINUS LED に現在の設定値が表示されるので、ー＋キーで設定を行います。
- ⑤ SET キーを押すとメニュー番号の選択に戻ります。さらに設定する項目がある場合は、②以降を繰り返します。
- ⑥ 60 秒間メニュー操作キーが操作されなかった場合は、7-SEGMENT LED および MINUS LED は自動的に消灯します。再度、設定を行う場合は、①から操作を行ってください。



[図 4] メニュー操作の流れ

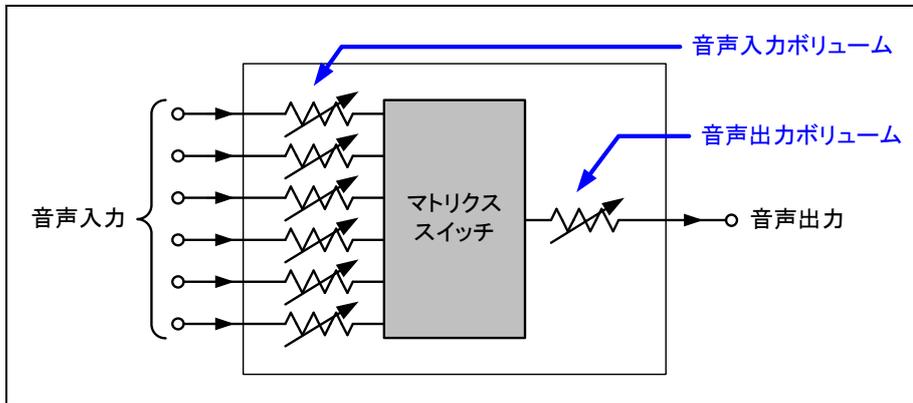
4.1 メニュー番号

メニュー番号	機能	詳細ページ
F00	音声出力レベル	19
F01	音声入力レベル	20
F02-F05	EDID データ	22
F06	EDID データのコピー	23
F07	アップコンバータ出力 解像度	24
F08	アップコンバータ出力 モニタ アスペクト比	25
F09	アナログビデオ入力 オーバースキャン	27
F10	アップコンバータ出力 水平表示位置	28
F11	アップコンバータ出力 垂直表示位置	29
F12	アップコンバータ出力 水平表示サイズ	30
F13	アップコンバータ出力 垂直表示サイズ	31
F14	アナログビデオ入力 アスペクト比	32
F15	アナログビデオ入力 アスペクト比復元処理設定	37
F16	アナログビデオ入力 左側トリミング	39
F17	アナログビデオ入力 右側トリミング	40
F18	アナログビデオ入力 上側トリミング	41
F19	アナログビデオ入力 下側トリミング	42
F20	アップコンバータ出力 バックカラー(赤)	43
F21	アップコンバータ出力 バックカラー(緑)	44
F22	アップコンバータ出力 バックカラー(青)	45
F23	アップコンバータ出力 シャープネス	46
F24	アップコンバータ出力 コントラスト	47
F25	アップコンバータ出力 ブライトネス	48
F26	アップコンバータ出力 ガンマ	49
F27	アップコンバータ出力 サチレーション(彩度)	50
F28	アップコンバータ出力 色相(HUE)	51
F29	アップコンバータ出力 ゲイン(赤)	52
F30	アップコンバータ出力 ゲイン(緑)	53
F31	アップコンバータ出力 ゲイン(青)	54
F32	アナログビデオ入力 セットアップレベル	55
F33	チャンネル 切り換えウェイト	56
F34	出力同期信号極性	57
F35	アナログRGB入力 同期信号終端	58
F36	映像信号無入力時の出力映像	59
F37	テストパターン出力	60
F38	バージョン情報表示	61

4.2 音声出力レベル

音声出力ボリュームにより音声出力レベルを設定します。

- ・音声出力レベル（設定数値 = OFF のとき MUTE,
設定数値 = -33 ~ +6 のとき -33[dB] ~ +6[dB] / 1 [dB] ステップ,
※初期値 0[dB]）

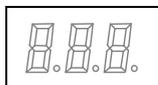


【図 4.2】 音声入出力ボリューム

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	×

○：設定可 ×：設定不可



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F00 を選択

↓ SET キー



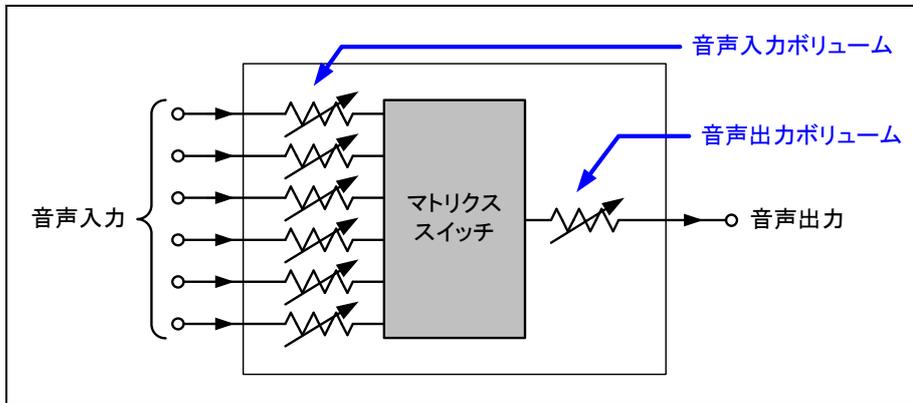
—+キー：音声出力レベル設定（OFF, -33 ~ +6）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.3 音声入力レベル

音声入力ボリュームにより音声入力レベルを設定します。設定した値は入力端子毎に記憶される(入力チャンネル 6 はアナログ RGB 入力用とアナログビデオ入力用の入力端子がありますが、それぞれの入力端子毎に記憶されます)ので、入力信号毎の音声入力レベルの差を修正できます。

・音声入力レベル (-39[dB] ~ ±0[dB] / 1 [dB] ステップ ※初期値 0[dB])

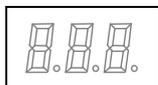


【図 4.3】 音声入出力ボリューム

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F01 を選択

↓ SET キー



—+キー : 音声入力レベル設定 (-39 ~ ±0)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.4 EDID 設定

通常、パソコンとモニタを直接接続して電源を入れると、パソコンはモニタに対して、自身が出力すべき解像度や、モニタが受けることのできる信号周波数の範囲などの情報を問い合わせ、そのデータ(EDID)を取得します。このパソコンとモニタ間の通信のやり取りをプラグアンドプレイと呼びます。

本機をパソコンとモニタの間に接続した場合、プラグアンドプレイはパソコンと本機の間で実行されます。その際本機がパソコンに対してどういう情報を送信するか(接続されているモニタはどの解像度を受けられるのか)をあらかじめ設定しておきます。

EDID設定メニューでは、パソコンからの問い合わせに対して本機が返信するデータを設定します。設定するデータは、本機のOUTPUT端子に接続されたモニタから読み取ったデータ、または本機にあらかじめ登録された15種類の内蔵データの中から選択することができます。(4.4.1 EDIDデータの設定をご覧ください)

パソコンがプラグアンドプレイでモニタ情報を読み込むタイミングは下記の通りとなります。

デスクトップパソコンの場合 :電源起動時や、モニタと再接続した時
ノートパソコンの場合 :外部モニタ出力設定時

そのため、本機のプラグアンドプレイ設定はあらかじめ行っておく必要があります。

4.4.1 EDID データ

接続されたパソコンに対して本機が返信する EDID データを設定します。「COPY DATA」に設定すると本機の OUTPUT 端子に接続されたモニタから読み取ったデータを返信し、それ以外に設定すると本機にあらかじめ登録された内蔵データを返信します。

EDID データは入力端子 CH 1、CH2、CH3、CH6(アナログ RGB 設定の場合)に設定することができます。

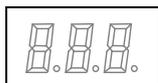
0 : 1024 × 768 (XGA)	8 : 1400 × 1050 (SXGA+)
1 : 1280 × 720 (720p)	9 : 1440 × 900 (WXGA+)
2 : 1280 × 768 (WXGA)	10 : 1600 × 900 (WXGA++)
3 : 1280 × 800 (WXGA)	11 : 1600 × 1200 (UXGA)
4 : 1280 × 960 (Quad_VGA)	12 : 1680 × 1050 (WSXGA+)
5 : 1280 × 1024 (SXGA)	13 : 1920 × 1080 (1080p)
6 : 1360 × 768 (WXGA)	14 : 1920 × 1200 (WUXGA) ※初期値
7 : 1366 × 768 (WXGA)	15 : COPY DATA (注)

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	○

○ : 設定可 × : 設定不可

※選択されたチャンネルにかかわらず、設定を行うことができます。



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : 入力 1 の EDID を設定 → F02 を選択
 入力 2 の EDID を設定 → F03 を選択
 入力 3 の EDID を設定 → F04 を選択
 入力 6 の EDID を設定 → F05 を選択

↓ SET キー



—+キー : 解像度設定 (0:XGA, 1:720P, 2:WXGA, 3:WXGA, 4:Quad-VGA,
 5:SXGA, 6:WXGA, 7:WXGA, 8:SXGA+, 9:WXGA+, 10:WXGA++, 11:UXGA,
 12:WSXGA+, 13:1080P, 14:WUXGA, 15:COPY DATA)

↓ SET キー : メニュー戻り

(注) **4.4.2 EDID データのコピーメニュー**で、あらかじめモニタから EDID データを読み取っておく必要があります。データを読み取っていない場合は、WUXGA の解像度が読み出されます。

※1280 × 720、1920 × 1080 は EIA/CEA-816 規格ハイビジョン信号と同等タイミングとなります。

※ご使用する PC(グラフィックボード)により、選択した解像度に対応できない場合があります。

また、ご使用する PC、モニタの組み合わせにより、正常に表示されない場合があります。

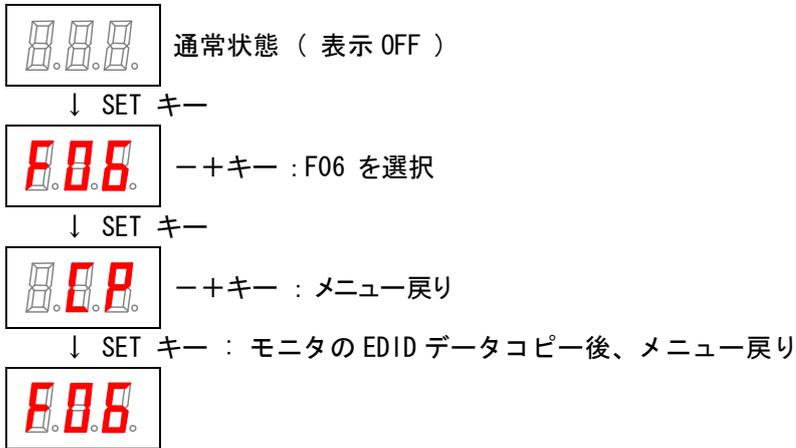
※WUXGA は Reduced Blanking のみ対応しています、モニタによっては映像を表示できない場合があります。

4.4.2 EDID データのコピー

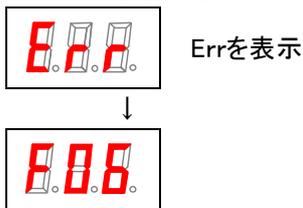
モニタの EDID データを読み取り本機に記憶します。

コピーした EDID データを使用する場合は、4.4.1 EDID データで「COPY DATA」を選択し、以降は内蔵データと同じように扱うことができます。

※EDID データのコピーはアナログRGB映像出力コネクタ(D-Sub)のみ行うことができます。



モニタの EDID を読み取れなかったり、データにチェックサムエラーがある場合はエラーメッセージを表示します。



4.5 アップコンバータ出力 解像度

アップコンバータ出力の解像度を設定します。接続されるモニタの解像度と同じものを選択すると、もっとも綺麗に映像を表示することができます。例えば、水平 1280×垂直 1024ピクセルのモニタを接続する場合は、解像度に「SXGA (1280×1024)」を選択してください。もし選択できる解像度の中に、接続されるモニタの解像度と一致するものがない場合は、有効画素数がかもっとも近い解像度を選択してください。

接続されるモニタの画面サイズは「フル表示」または「全画面表示」などに設定してください。それ以外に設定すると、モニタと本機の両方でアスペクト調整が働いてしまい、アスペクト比が崩れたり解像度の低下をまねく場合があります。(モニタの画面サイズ設定については、お使いのモニタのマニュアルをご覧ください)

{	0 : XGA	(1024x768)	※初期値	8 : WXGA+	(1440x900)
	1 : WXGA	(1360x768)		9 : WXGA++	(1600x900)
	2 : Quad-VGA	(1280x960)		10 : 720P	(1280x720)
	3 : SXGA	(1280x1024)		11 : 1080P	(1920x1080)
	4 : SXGA+	(1400x1050)		12 : UXGA	(1600x1200)
	5 : WXGA	(1280x768)		13 : WUXGA	(1920x1200) (注)
	6 : WXGA	(1280x800)		14 : WSXGA+	(1680x1050)
	7 : WXGA	(1366x768)			

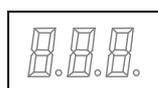
以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
テストパターンを表示していない場合	×	×	△	○	○	△	×
テストパターンを表示している場合 ※	○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)

※テストパターンは選択した解像度で出力されるため、テストパターンを表示している場合は常に解像度を設定することができます。(テストパターンの出力は 60 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F07 を選択

↓ SET キー



—+キー : 解像度設定 (0:XGA, 1:WXGA, 2:Quad-VGA, 3:SXGA, 4:SXGA+, 5:WXGA, 6:WXGA, 7:WXGA, 8:WXGA+, 9:WXGA++, 10:720P, 11:1080P, 12:UXGA, 13:WUXGA, 14:WSXGA+) (注)

↓ SET キー : メニュー戻り

(注) WUXGA は Reduced Blanking のみ対応しています、モニタによっては映像を表示できない場合があります。

4.6 アップコンバータ出力 モニタ アスペクト比

接続されるモニタのアスペクト比を設定します。この設定は、アナログビデオ入力のアスペクト比設定(P.32)で、正常なアスペクト比の復元に使用されます。

{	・RESOLUTION (設定値 = 0 ※初期値)	・5:3 モニタ (設定値 = 3)
	・4:3 モニタ (設定値 = 1)	・16:9 モニタ (設定値 = 4)
	・5:4 モニタ (設定値 = 2)	・16:10 モニタ (設定値 = 5)

「RESOLUTION」に設定した場合は、アップコンバータ出力の解像度設定(P.24)で選択した解像度と同じアスペクト比のモニタが接続されているものとして扱います。

解像度	アスペクト比	解像度	アスペクト比
XGA (1024 × 768)	4:3	WXGA+ (1440 × 900)	16:10
WXGA (1360 × 768)	16:9	WXGA++ (1600 × 900)	16:9
Quad-VGA (1280 × 960)	4:3	720p (1280 × 720)	16:9
SXGA (1280 × 1024)	5:4	1080p (1920 × 1080)	16:9
SXGA+ (1400 × 1050)	4:3	UXGA (1600 × 1200)	4:3
WXGA (1280 × 768)	5:3	WUXGA (1920 × 1200)	16:10
WXGA (1280 × 800)	16:10	WSXGA+ (1680 × 1050)	16:10
WXGA (1366 × 768)	16:9		

[表 4.6.1] アップコンバータ出力の解像度とアスペクト比

接続されるモニタのアスペクト比と、アップコンバータ出力の解像度設定(P.24)で選択した解像度のアスペクト比が異なる場合は、接続されるモニタのアスペクト比を「4:3」「5:4」「5:3」「16:9」「16:10」から選択することができます。

解像度	アスペクト比	解像度	アスペクト比
VGA (640 × 480)	4:3	WXGA+ (1440 × 900)	16:10
WVGA (800 × 480)	5:3	WXGA++ (1600 × 900)	16:9
SVGA (800 × 600)	4:3	Quad-VGA (1280 × 960)	4:3
720p (1280 × 720)	16:9	SXGA (1280 × 1024)	5:4
XGA (1024 × 768)	4:3	SXGA+ (1400 × 1050)	4:3
XGA+ (1152 × 864)	4:3	WSXGA+ (1680 × 1050)	16:10
WXGA (1280 × 768)	5:3	UXGA (1600 × 1200)	4:3
WXGA (1360 × 768)	16:9	1080i, p (1920 × 1080)	16:9
WXGA (1366 × 768)	16:9	WUXGA (1920 × 1200)	16:10

[表 4.6.2] モニタの代表的な解像度とアスペクト比

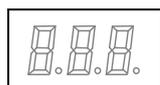
以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
テストパターンを表示していない場合	×	×	△	○	○	△	×
テストパターンを表示している場合 ※	○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)

※テストパターンは選択したアスペクト比で出力されるため、テストパターンを表示している場合は常にアスペクト比を設定することができます。(テストパターンの出力は 60 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F08 を選択

↓ SET キー



—+キー : モニタ アスペクト比設定 (0=RESOLUTION, 1=4:3 モニタ, 2=5:4
モニタ, 3=5:3 モニタ, 4=16:9 モニタ, 5=16:10 モニタ)

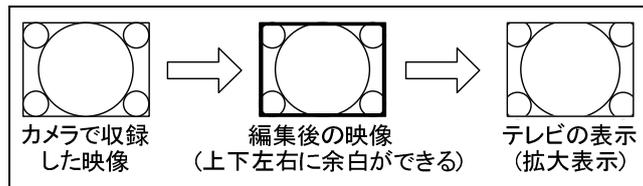
↓ SET キー : メニュー戻り

4.7 アナログビデオ入力 オーバースキャン

アナログビデオ入力の拡大表示を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

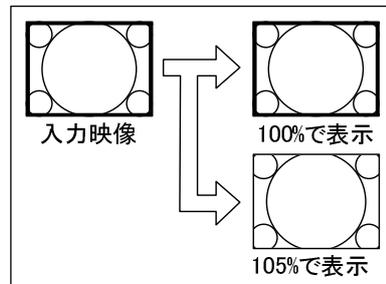
・オーバースキャン（100%～115% ※初期値 105%）

一般的なテレビの映像は、編集段階で有効表示エリアが若干狭くなり、そのまま表示すると上下左右に映像のないエリア(通常は黒になります)が表示されてしまうため、通常のテレビは入力された映像を少し拡大して表示しています。この表示方式をオーバースキャンといい、本メニューでは拡大率を設定します。



【図 4.7.1】 テレビの表示

100%に設定すると入力された映像を画面いっぱいに表示しますが、画面の淵に黒が表示されることがあります。



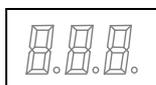
【図 4.7.2】 オーバースキャン

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○：設定可 ×：設定不可

△：アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F09 を選択

↓ SET キー

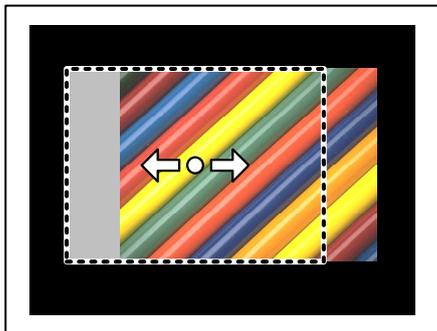


—+キー：オーバースキャン設定（100～115）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.8 アップコンバータ出力 水平表示位置

アップコンバータ出力の水平表示位置を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・水平表示位置 (-300 ~ +300 / 1 ピクセル単位で移動します ※初期値 0)

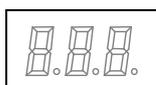
【図 4.8】 アップコンバータ出力 水平表示位置

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F10 を選択

↓ SET キー

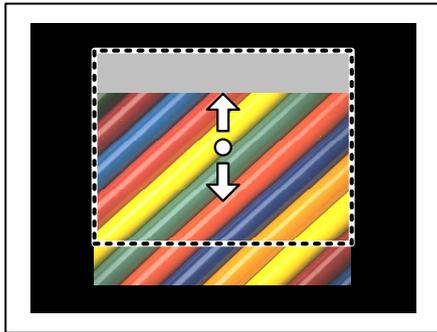


—+キー : 水平表示位置設定 (-300 ~ +300)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.9 アップコンバータ出力 垂直表示位置

アップコンバータ出力の垂直表示位置を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・垂直表示位置 (-300 ~ +300 / 1ライン単位で
移動します ※初期値 0)

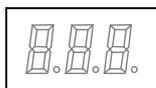
[図 4.9] アップコンバータ出力 垂直表示位置

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F11 を選択

↓ SET キー

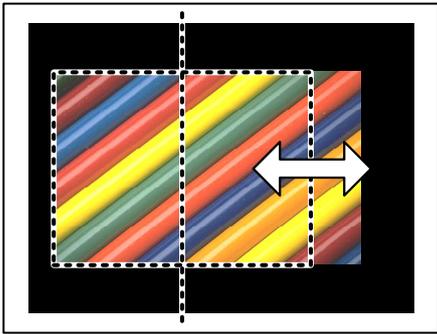


—+キー : 垂直表示位置設定設定 (-300 ~ +300)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.10 アップコンバータ出力 水平表示サイズ

アップコンバータ出力の水平表示サイズを設定します。水平表示位置および左側トリミングで設定した出力映像の左端を基準に拡大/縮小を行います。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・水平表示サイズ (-300 ~ +300 / 1 ピクセル単位
で拡大/縮小します ※初期値 0)

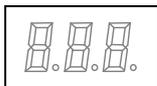
【図 4.10】 アップコンバータ出力 水平表示サイズ

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F12 を選択

↓ SET キー

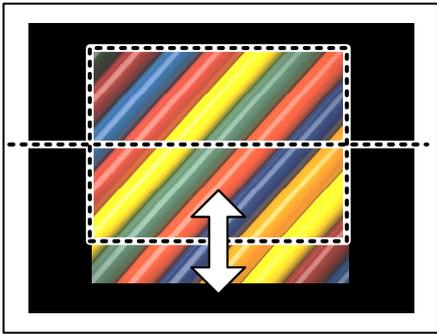


—+キー : 水平表示サイズ設定 (-300 ~ +300)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.11 アップコンバータ出力 垂直表示サイズ

アップコンバータ出力の垂直表示サイズを設定します。垂直表示位置および上側トリミングで設定した出力映像の上端を基準に拡大/縮小を行います。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・垂直表示サイズ (-300 ~ +300 / 1ライン単位で
拡大/縮小します ※初期値 0)

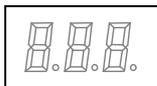
【図 4.11】 アップコンバータ出力 垂直表示サイズ

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F13 を選択

↓ SET キー



—+キー : 垂直表示サイズ設定 (-300 ~ +300)

↓ SET キー : メニュー戻り

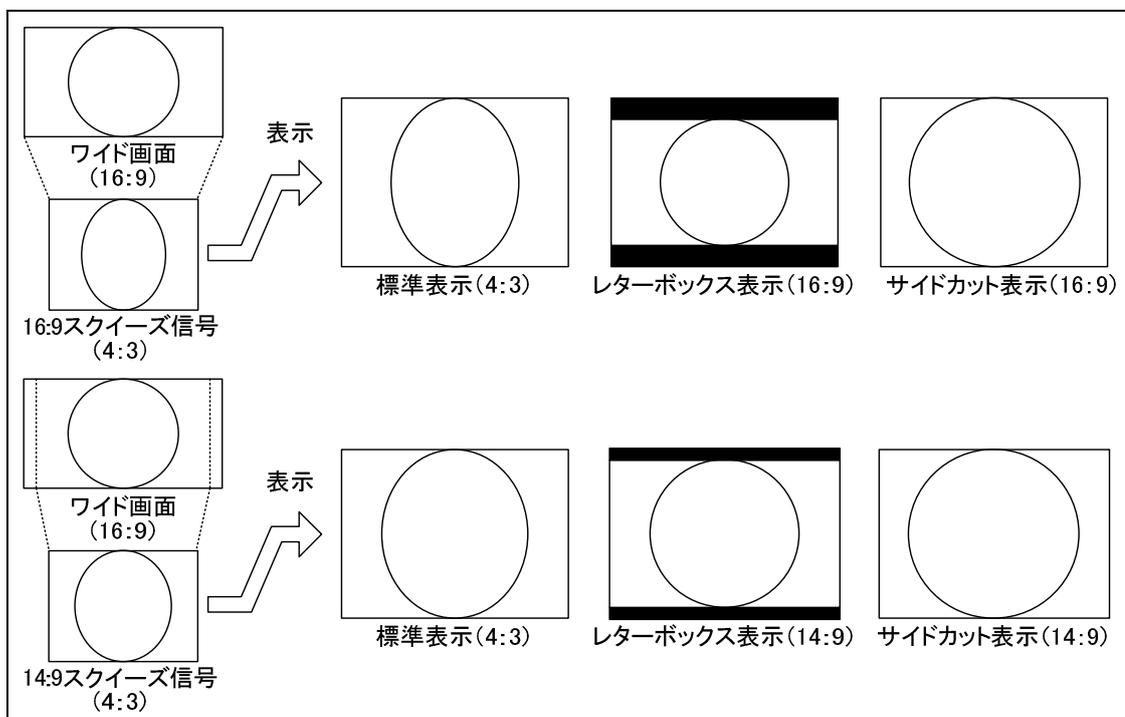
4.12 アナログビデオ入力 アスペクト比

アナログビデオ入力のアスペクト比を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

{	・自動	(設定値 = 0 ※初期値)
	・標準	(設定値 = 1)
	・16:9 スクイーズ ^{※1}	(設定値 = 2)
	・14:9 スクイーズ ^{※1}	(設定値 = 3)
	・無効	(設定値 = 4)

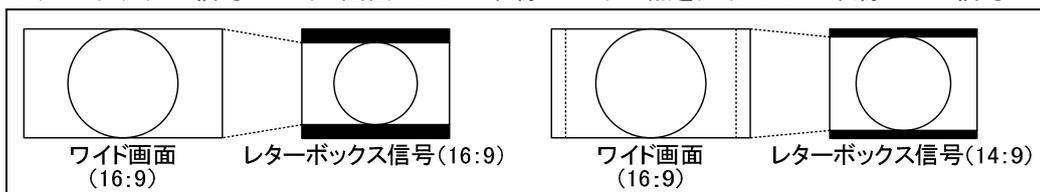
「自動」「標準」「16:9 スクイーズ」「14:9 スクイーズ」に設定した場合は、モニタのアスペクト比設定(P.25)、およびアスペクト比復元処理設定(P.37)に従い、元のアスペクト比を復元します。

※1 16:9 スクイーズはワイド画面 16:9 の映像を水平方向に圧縮して 4:3 の映像にした信号で、一般にスクイーズ信号とは 16:9 スクイーズのことを示します。また 14:9 スクイーズは日本国内ではあまり使用されませんが、ワイド画面 16:9 の映像の左右を少しカットし、水平方向に圧縮して 4:3 の映像にした信号です。



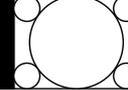
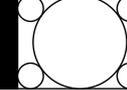
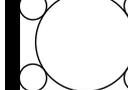
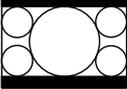
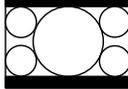
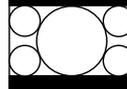
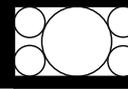
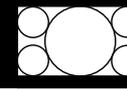
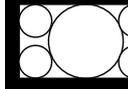
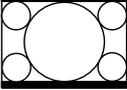
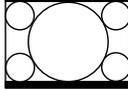
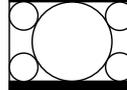
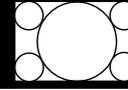
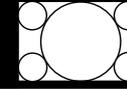
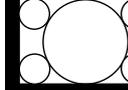
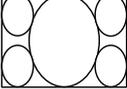
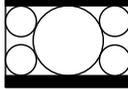
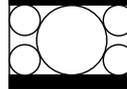
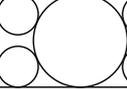
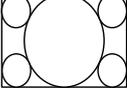
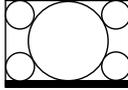
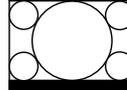
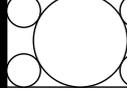
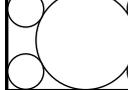
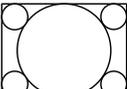
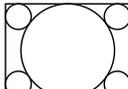
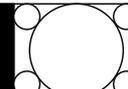
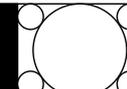
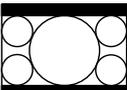
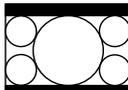
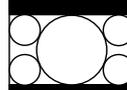
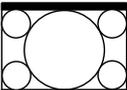
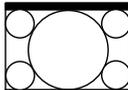
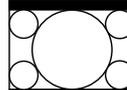
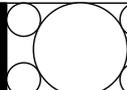
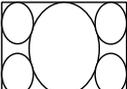
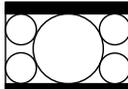
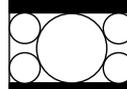
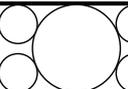
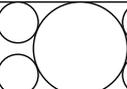
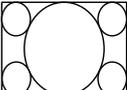
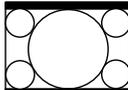
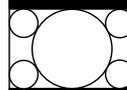
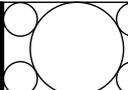
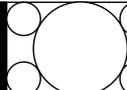
【図 4.12.1】 スクイーズ信号

レターボックス信号はワイド画面 16:9 の映像の上下に黒を入れ 4:3 の映像にした信号です。



【図 4.12.2】 レターボックス信号

「自動」に設定すると、入力されたID-1信号またはWSS信号^{※3}に応じて自動的に元のアスペクト比を復元します。^{※4}

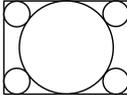
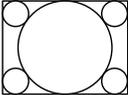
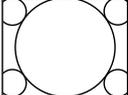
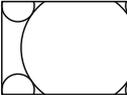
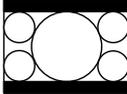
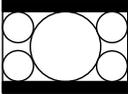
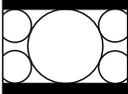
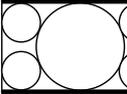
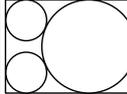
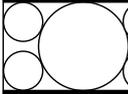
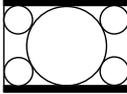
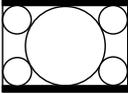
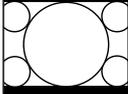
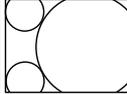
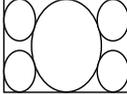
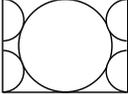
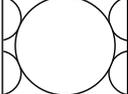
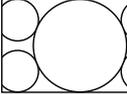
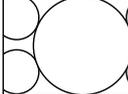
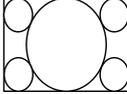
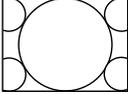
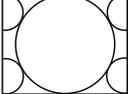
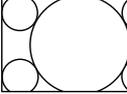
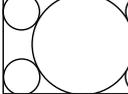
[アスペクト復元処理設定でレターボックス/サイドパネル-1に設定した場合]					
入力信号	接続されるモニター [※]				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
4:3の映像信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 
16:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 
14:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 
16:9スクイーズ信号 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 		上下にBCを表示 
14:9スクイーズ信号 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 
[アスペクト復元処理設定でレターボックス/サイドパネル-2に設定した場合]					
入力信号	接続されるモニター [※]				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
4:3の映像信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 
16:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット 
14:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示 
16:9スクイーズ信号 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 		上下にBCを表示 
14:9スクイーズ信号 	上下にBCを表示 	上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 

※ モニタのアスペクト比設定で選択したアスペクト比が基準になります。 BC=バックカラー(デフォルトは黒)

[図 4. 12. 3] アスペクト比の復元-1

※ 「レターボックス/サイドパネル-1」と「レターボックス/サイドパネル-2」の違いは、レターボックス信号の取り扱いだけです。(図 4.12.3)

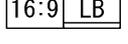
[アスペクト復元処理設定でサイドカット/トップボトムカットに設定した場合]

入力信号	接続されるモニタ※				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
4:3の映像信号 		左右をカット 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット 
16:9レターボックス信号 		左右をカット 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット 
14:9レターボックス信号 		左右をカット 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット 
16:9スクイーズ信号 	左右をカット 	左右をカット 	左右をカット 		左右をカット 
14:9スクイーズ信号 	左右をカット 	左右をカット 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット 

※ モニタのアスペクト比設定で選択したアスペクト比が基準になります。

[図 4.12.4] アスペクト比の復元-2

※3 ID-1 信号, WSS 信号 : 映像信号にアスペクト比の識別信号を挿入し、自動的にアスペクト比を切り換えるためのもので、市販の DVD などでは以下のマークが表示されています。

	4:3の画面サイズで収録されています
	4:3の画面サイズ(レターボックス)で収録されています
	16:9の画面サイズで収録されています(スクイーズ信号が挿入されています)

[図 4.12.5] DVD などの画面サイズ例

※4 通常、DVD プレーヤーの画面設定が 4:3 になっている場合にスクイーズ信号の挿入された DVD を再生すると、DVD プレーヤーがアスペクト変換を行い、ID-1 信号または WSS 信号を取り除いてしまいます。この場合は「自動」に設定しても、本機が ID-1 信号または WSS 信号が検出できないため、[図 4.12.3] および[図 4.12.4] のようなアスペクト変換を行いません。アスペクト比 5:3、16:9、16:10 のモニタ(ワイドモニタ)に DVD プレーヤーの入力映像を表示する場合は、DVD プレーヤーの画面設定を 16:9 にしてください。(DVD プレーヤーの画面設定については、お使いの DVD プレーヤーのマニュアルをご覧ください)

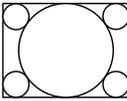
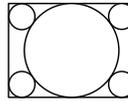
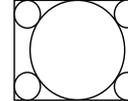
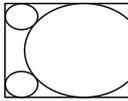
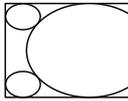
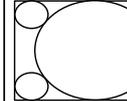
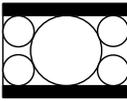
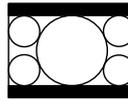
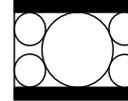
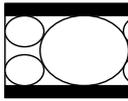
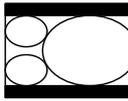
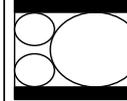
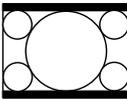
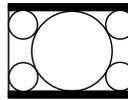
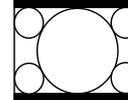
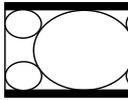
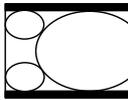
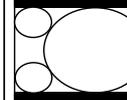
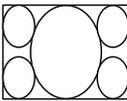
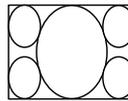
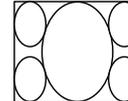
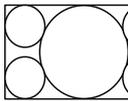
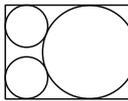
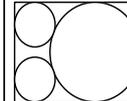
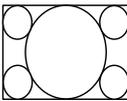
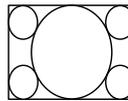
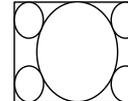
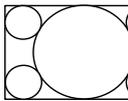
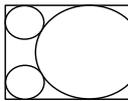
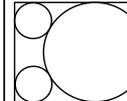
「自動」に設定した場合でも、ID-1信号またはWSS信号が入力されないと、アスペクト比4:3の映像信号が入力されているものとしてアスペクト比の復元を行います。ID-1信号またはWSS信号が入力されない場合や、アスペクト比を固定で使用する場合は、手動で入力信号のアスペクト比を選択することができます。

「標準」に設定した場合は、アスペクト比 4:3 の映像信号が入力されているものとしてアスペクト比の復元を行います。(【図 4.12.3】および【図 4.12.4】の「4:3の映像信号」「16:9レターボックス信号」「14:9レターボックス信号」の行に相当します)

「16:9スクイーズ」に設定した場合は、アスペクト比 16:9 のスクイーズ信号が入力されているものとしてアスペクト比の復元を行います。(【図 4.12.3】および【図 4.12.4】の「16:9スクイーズ信号」の行に相当します)

「14:9スクイーズ」に設定した場合は、アスペクト比 14:9 のスクイーズ信号が入力されているものとしてアスペクト比の復元を行います。(【図 4.12.3】および【図 4.12.4】の「14:9スクイーズ信号」の行に相当します)

「無効」に設定すると、入力された映像信号やモニタのアスペクト比設定(P.25)、およびアスペクト比復元処理設定(P.37)に関係なく、常に画面いっぱいに映像を表示します。

入力信号	接続されるモニタ				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
4:3の映像信号 		縦長になります 	横長になります 	横長になります 	横長になります 
16:9レターボックス信号 		縦長になります 	横長になります 	横長になります 	横長になります 
14:9レターボックス信号 		縦長になります 	横長になります 	横長になります 	横長になります 
16:9スクイーズ信号 	縦長になります 	縦長になります 	縦長になります 		縦長になります 
14:9スクイーズ信号 	縦長になります 	縦長になります 	横長になります 	横長になります 	横長になります 

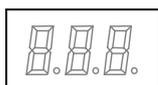
【図 4.12.6】 アスペクト比の無効化

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○：設定可 ×：設定不可

△：アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー : F14 を選択

↓ SET キー



—+キー : アスペクト比設定（0=自動, 1=標準, 2=16:9 スクイーズ,
3=14:9 スクイーズ, 4=無効）

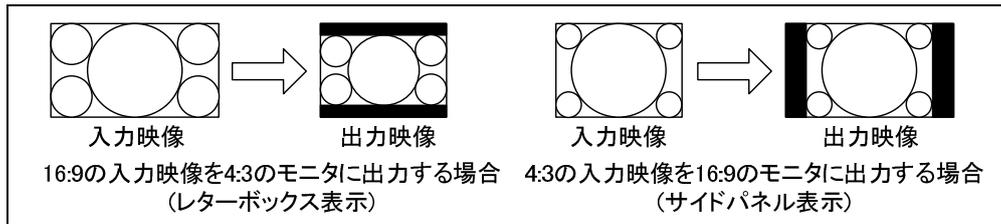
↓ SET キー : メニュー戻り

4.13 アナログビデオ入力 アスペクト比復元処理設定

アナログビデオ入力のアスペクト比の復元を行う際の処理を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

- ・レターボックス/サイドパネル-1 (設定値 = 0 ※初期値)
- ・レターボックス/サイドパネル-2 (設定値 = 1)
- ・サイドカット/トップボトムカット (設定値 = 2)

「レターボックス/サイドパネル-1」または「レターボックス/サイドパネル-2」に設定した場合は、入力された映像を画面の中央に表示し、上下または左右の余った領域にはバックカラー(P.43～45)で設定した背景色を表示します。



【図 4.13.1】 レターボックス/サイドパネル

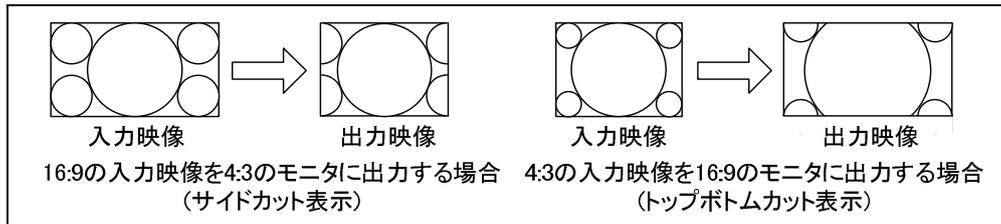
「レターボックス/サイドパネル-1」と「レターボックス/サイドパネル-2」は、レターボックス信号の取り扱いが異なります。「レターボックス/サイドパネル-1」はレターボックス信号をアスペクト比 4:3 の信号として取り扱いますが、「レターボックス/サイドパネル-2」はレターボックス信号をワイドパネルに表示する際、上下の黒を取り除き有効映像領域を拡大します。(レターボックス信号は、元々アスペクト比 16:9 の映像を圧縮した信号のため、「レターボックス/サイドパネル-2」を選択すると、圧縮した信号を再度拡大して表示することになり画質が劣化します)

[アスペクト復元処理設定でレターボックス/サイドパネル-1に設定した場合]					
入力信号	接続されるモニタ※				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
16:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示
14:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示 	左右にBCを表示
[アスペクト復元処理設定でレターボックス/サイドパネル-2に設定した場合]					
入力信号	接続されるモニタ※				
	4:3 モニタ	5:4 モニタ	5:3 モニタ	16:9 モニタ	16:10 モニタ
16:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	上下をカット 	上下をカット 	上下をカット
14:9レターボックス信号 		上下にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示 	上下をカットし 左右にBCを表示

※ 表示機器のアスペクト比設定で選択したアスペクト比が基準になります。 BC=バックカラー(デフォルトは黒)

【図 4.13.2】 レターボックス/サイドパネル 1 と 2 の違い

「サイドカット/トップボトムカット」に設定した場合は、入力された映像の左右または上下の一部をカットしますが、画面に背景色が表示されることはありません。この設定にした場合、入力映像の一部が表示されません。



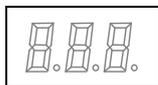
【図 4.13.3】 サイドカット/トップボトムカット

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○：設定可 ×：設定不可

△：アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F15 を選択

↓ SET キー

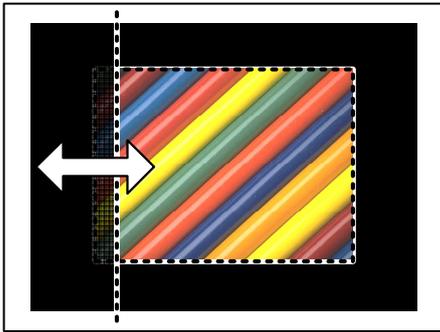


—+キー：アスペクト復元処理設定（0=レターボックス/サイドパネル-1, 1=レターボックス/サイドパネル-2, 2=サイドカット/トップボトムカット）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.14 アナログビデオ入力 左側トリミング

アナログビデオ入力画面の左側のトリミング(余白切り取り)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・左側トリミング（0 ～ 100 / 1 ピクセル単位で切り取ります ※初期値 0）

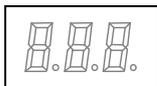
【図 4.14】 アナログビデオ入力 左側トリミング

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○： 設定可 ×： 設定不可

△： アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F16 を選択

↓ SET キー

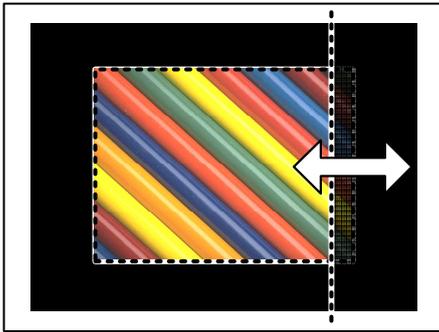


—+キー：左側トリミング設定（0 ～ 100）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.15 アナログビデオ入力 右側トリミング

アナログビデオ入力画面の右側のトリミング(余白切り取り)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・右側トリミング（0 ～ 100 / 1 ピクセル単位で切り取ります ※初期値 0）

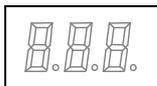
【図 4.15】 アナログビデオ入力 右側トリミング

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○： 設定可 ×： 設定不可

△： アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F17 を選択

↓ SET キー

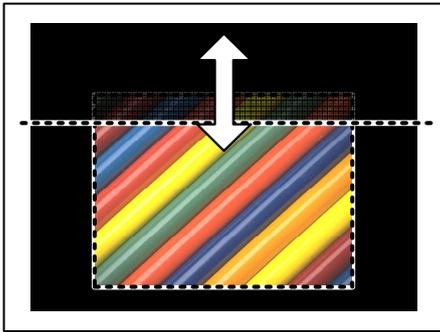


—+キー：右側トリミング設定（0 ～ 100）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.16 アナログビデオ入力 上側トリミング

アナログビデオ入力画面の上側のトリミング(余白切り取り)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・上側トリミング (0 ~ 100 / 1 ライン単位で切り取ります ※初期値 0)

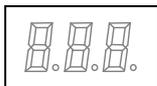
【図 4.16】 アナログビデオ入力 上側トリミング

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F18 を選択

↓ SET キー

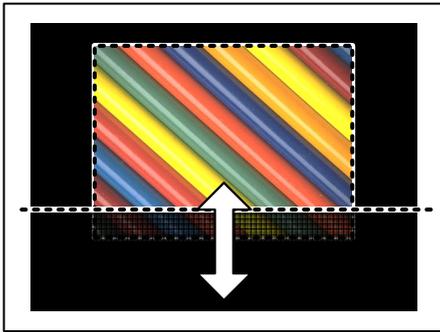


—+キー : 上側トリミング設定 (0 ~ 100)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.17 アナログビデオ入力 下側トリミング

アナログビデオ入力画面の下側のトリミング(余白切り取り)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。



・下側トリミング（0 ～ 100 / 1ライン単位で切り取ります ※初期値 0）

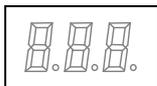
【図 4.17】 アナログビデオ入力 下側トリミング

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○：設定可 ×：設定不可

△：アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F19 を選択

↓ SET キー



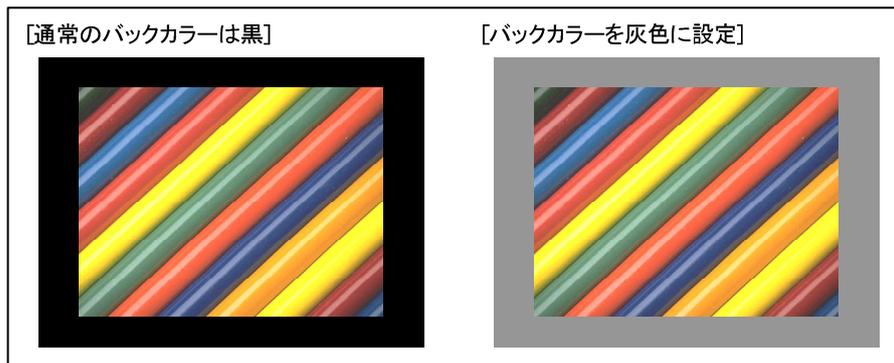
—+キー：下側トリミング設定（0 ～ 100）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.18 アップコンバータ出力 バックカラー(赤)

アップコンバータ出力の背景色の赤成分を設定します。バックカラー(赤)、バックカラー(緑)、バックカラー(青)の組み合わせで約 1670 万色の中から選択することができます。通常は黒(赤、緑、青が全て 0)に設定しますが、灰色などに設定することにより、映像が表示されている部分と映像が表示されていない部分の輝度の差が少なくなり、プラズマモニタを接続した場合に焼き付きを軽減することができます。またプロジェクターでスクリーンに投射する場合に、バックカラーをスクリーンと同じ色に設定すれば、映像が表示されていない部分を壁と同化させることができます。

・バックカラー(0 ~ 255 ※初期値 0)



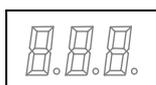
[図 4.18] バックカラー

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F20 を選択

↓ SET キー



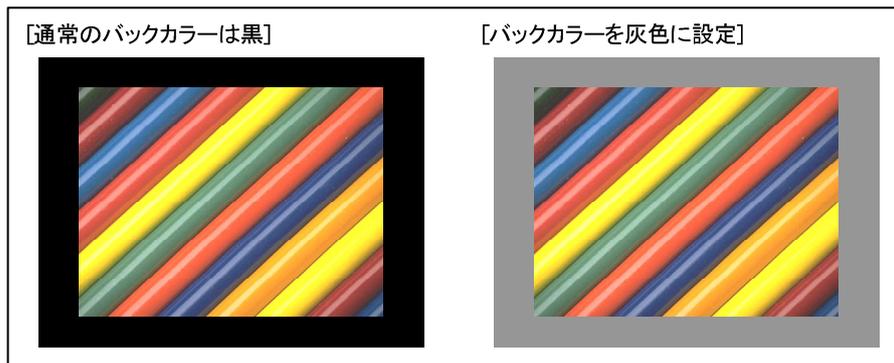
—+キー : バックカラー設定 (0 ~ 255)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.19 アップコンバータ出力 バックカラー(緑)

アップコンバータ出力の背景色の緑成分を設定します。バックカラー(赤)、バックカラー(緑)、バックカラー(青)の組み合わせで約 1670 万色の中から選択することができます。通常は黒(赤、緑、青が全て 0)に設定しますが、灰色などに設定することにより、映像が表示されている部分と映像が表示されていない部分の輝度の差が少なくなり、プラズマモニタを接続した場合に焼き付きを軽減することができます。またプロジェクターでスクリーンに投射する場合に、バックカラーをスクリーンと同じ色に設定すれば、映像が表示されていない部分を壁と同化させることができます。

・バックカラー(0 ~ 255 ※初期値 0)



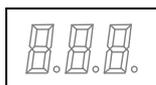
[図 4.19] バックカラー

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

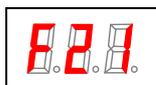
○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F21 を選択

↓ SET キー



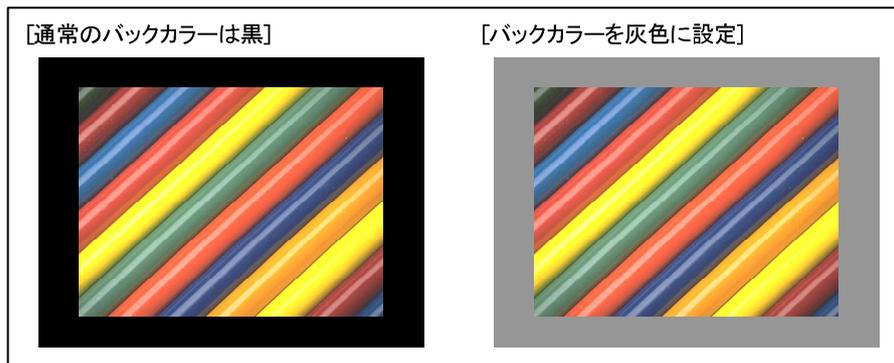
—+キー : バックカラー設定 (0 ~ 255)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.20 アップコンバータ出力 バックカラー(青)

アップコンバータ出力の背景色の青成分を設定します。バックカラー(赤)、バックカラー(緑)、バックカラー(青)の組み合わせで約 1670 万色の中から選択することができます。通常は黒(赤、緑、青が全て 0)に設定しますが、灰色などに設定することにより、映像が表示されている部分と映像が表示されていない部分の輝度の差が少なくなり、プラズマモニタを接続した場合に焼き付きを軽減することができます。またプロジェクターでスクリーンに投射する場合に、バックカラーをスクリーンと同じ色に設定すれば、映像が表示されていない部分を壁と同化させることができます。

・バックカラー(0 ~ 255 ※初期値 0)



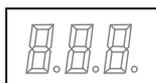
[図 4.20] バックカラー

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F22 を選択

↓ SET キー



—+キー : バックカラー設定 (0 ~ 255)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.21 アップコンバータ出力 シャープネス

アップコンバータ出力のシャープネスを設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・シャープネス (-5 ~ +15 ※初期値 0)

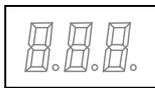
設定数値を小さくするとソフトな画質になり、設定数値を大きくすると輪郭のはっきりとした画質になります。

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

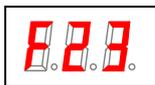
○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F23 を選択

↓ SET キー



—+キー : シャープネス設定 (-5 ~ +15)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.22 アップコンバータ出力 コントラスト

アップコンバータ出力のコントラストを設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・コントラスト (-48 ~ +48 ※初期値 0)

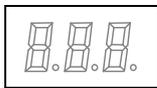
設定数値を小さくすると輝度の明暗の差が小さくなり、設定数値を大きくすると輝度の明暗の差が大きくなります。

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

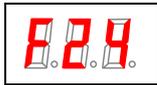
○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F24 を選択

↓ SET キー



—+キー : コントラスト設定 (-48 ~ +48)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.23 アップコンバータ出力 ブライトネス

アップコンバータ出力のブライトネスを設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・ブライトネス（設定値 = -512 ~ +511 ※初期値 0）

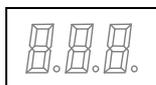
設定数値を小さくすると暗くなり、設定数値を大きくすると明るくなります。

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

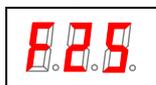
○：設定可 ×：設定不可

△：アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F25 を選択

↓ SET キー



—+キー：ブライトネス設定（-512 ~ +511）

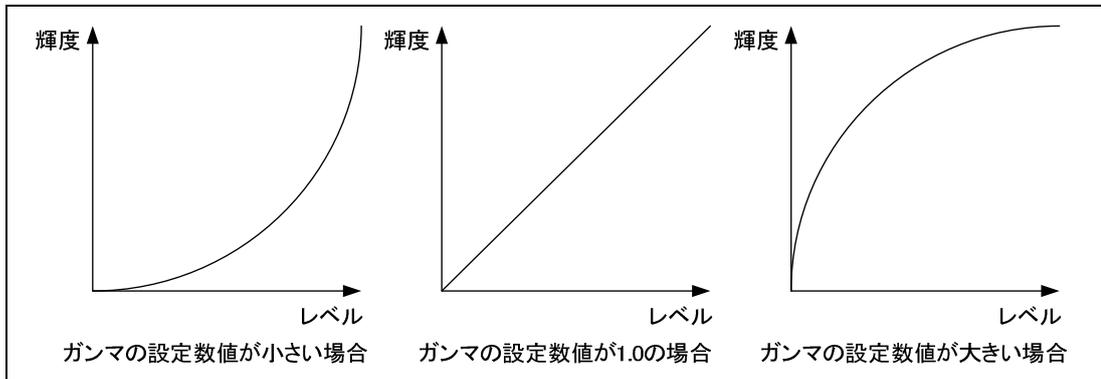
↓ SET キー：メニュー戻り

4.24 アップコンバータ出力 ガンマ

アップコンバータ出力のガンマを設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・ガンマ（設定値 = 0.1 ~ 3.0 / 0.1ステップ ※初期値 1.0）

設定数値を小さくすると黒の階調が上がり、暗くなったように感じます。設定数値を大きくすると白の階調が上がり、白っぽくなったように感じます。



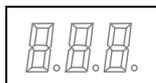
【図 4.24】 アップコンバータ出力 ガンマ

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○： 設定可 ×： 設定不可

△： アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可（アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください）



通常状態（表示 OFF）

↓ SET キー



—+キー：F26 を選択

↓ SET キー



—+キー：ガンマ設定（1.0 ~ 3.0）

↓ SET キー：メニュー戻り

4.25 アップコンバータ出力 サチレーション(彩度)

アップコンバータ出力のサチレーション(彩度)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・サチレーション (設定値 = -128 ~ +127 ※初期値 0)

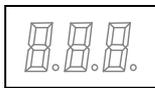
設定数値を小さくすると色がなくなりモノクロに近づきます。(-128 に設定すると完全なモノクロになります) 設定数値を大きくすると色が鮮やかになります。

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

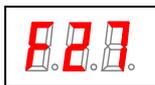
○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F27 を選択

↓ SET キー



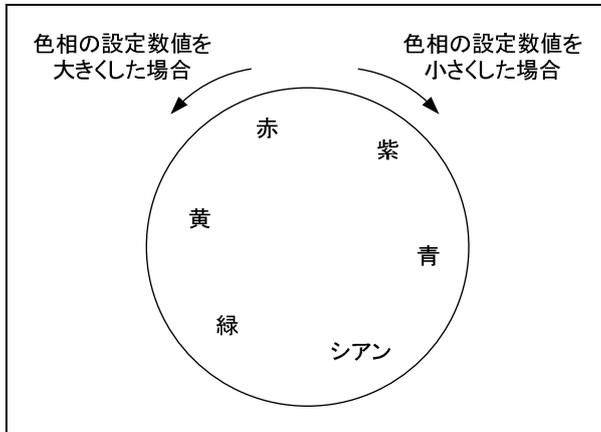
—+キー : サチレーション設定 (-128 ~ +127)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.26 アップコンバータ出力 色相(HUE)

アップコンバータ出力の色相(HUE)を設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

・色相 (設定値 = -44 ~ +44 ※初期値 0)



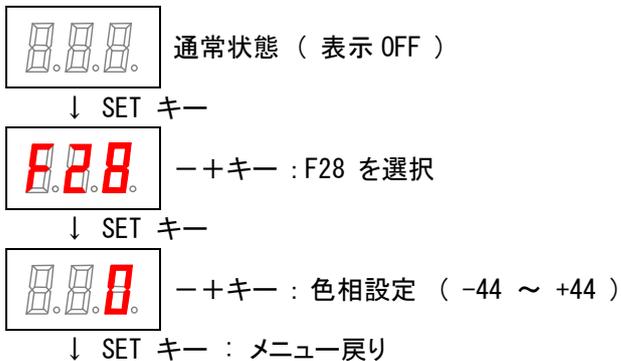
【図 4.26】 アップコンバータ出力 色相

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



4.27 アップコンバータ出力 ゲイン(赤)

アップコンバータ出力の赤のゲインを設定します。ゲイン(緑)およびゲイン(青)のメニューと組み合わせて使用することにより、映像入力信号の色の偏りを補正することができます。(例:赤みがかった映像信号の修正)設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

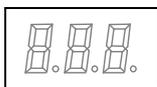
・ゲイン (-100 ~ +100 ※初期値 0)

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F29 を選択

↓ SET キー



—+キー : ゲイン設定 (-100 ~ +100)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.28 アップコンバータ出力 ゲイン(緑)

アップコンバータ出力の緑のゲインを設定します。ゲイン(赤)およびゲイン(青)のメニューと組み合わせて使用することにより、映像入力信号の色の偏りを補正することができます。(例:赤みがかった映像信号の修正)設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

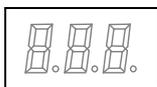
・ゲイン (-100 ~ +100 ※初期値 0)

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F30 を選択

↓ SET キー



—+キー : ゲイン設定 (-100 ~ +100)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.29 アップコンバータ出力 ゲイン(青)

アップコンバータ出力の青のゲインを設定します。ゲイン(赤)およびゲイン(緑)のメニューと組み合わせて使用することにより、映像入力信号の色の偏りを補正することができます。(例:赤みがかった映像信号の修正)設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

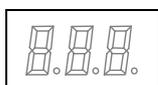
・ゲイン (-100 ~ +100 ※初期値 0)

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



−+キー : F31 を選択

↓ SET キー



−+キー : ゲイン設定 (-100 ~ +100)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.30 アナログビデオ入力 セットアップレベル

アナログビデオ入力のセットアップレベルを設定します。設定した値はアナログビデオ入力の入力端子毎に記憶されます。

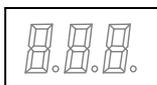
- $$\left\{ \begin{array}{l} \cdot 0 \text{ IRE 相当を黒レベルとする (設定値 = 0 ※初期値)} \\ \cdot 7.5 \text{ IRE 相当を黒レベルとする (設定値 = 1)} \end{array} \right.$$

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
×	×	△	○	○	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F32 を選択

↓ SET キー



—+キー : セットアップレベル設定 (0:補正しない, 1:-7.5IRE する)

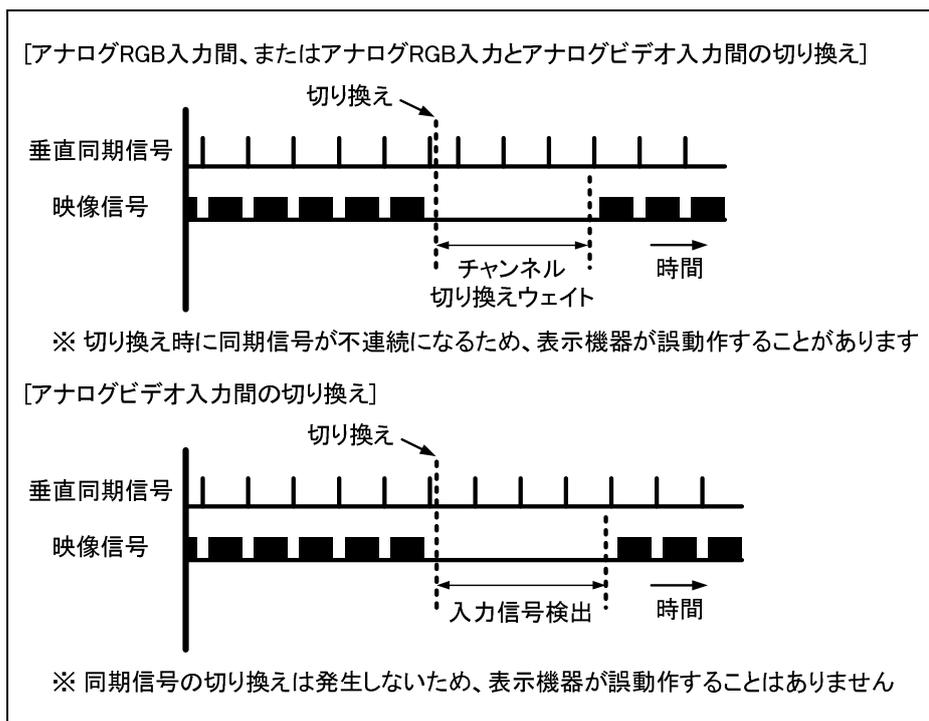
↓ SET キー : メニュー戻り

4.31 チャンネル 切り換えウェイト

チャンネル切り換え時、映像信号出力にウェイト(無信号)を挿入します。表示機器で切り換えノイズや、誤動作が生じる際に値を変更します。ウェイトの挿入は、映像信号(赤・青・緑)のみで、同期信号(垂直・水平)には挿入されません。実際に映像が出力されるのは、チャンネル切り換えウェイト期間経過後の、次の垂直同期信号に同期するため、無信号の期間は設定した値より長くなります。(設定した値は、無信号の最低保障時間です)

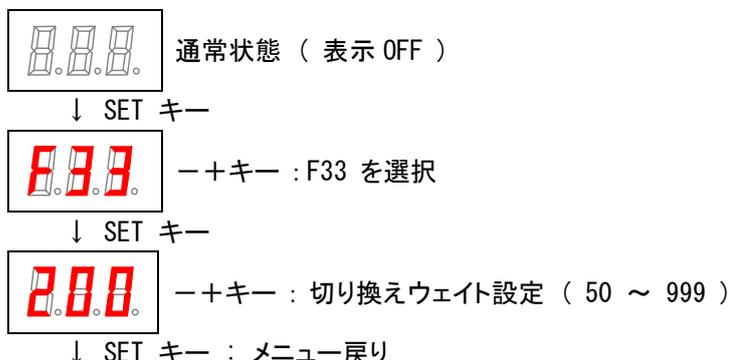
ただしアナログビデオ入力間の切り換え時は、同期信号の切り換えは発生せず、表示機器が誤動作することはないため、切り換えウェイト設定は無効です。

- ・チャンネル切り換え時間(50ms ~ 999ms ※初期値 200ms)



【図 4.31】 チャンネル切り換えウェイト

※ 接続された表示機器によっては、黒映像を出力している期間にノイズが見える場合があります。



4.32 出力同期信号極性

同期信号の極性を設定します。

アナログ RGB 入力を選択している場合は入力された同期信号を反転して出力するかどうかを設定します。0 に設定すると入力された同期信号をそのまま出力し、1 に設定すると入力された同期信号を反転して出力します。設定した値はアナログ RGB 入力の入力端子毎に記憶されます。

アナログビデオ入力を選択している場合は出力する同期信号の極性を設定します。0 に設定すると負極性 (Negative) の同期信号を出力し、1 に設定すると正極性 (Positive) の同期信号を出力します。設定した値は解像度毎に記憶されます。(解像度の設定は 24 ページをご覧ください)

・出力同期信号極性 (00, 01, 10, 11

※初期値 アナログ RGB 入力の場合は 00,

アナログビデオ入力の場合は以下の表をご覧ください)

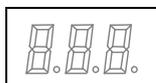
解像度	設定	水平同期信号	垂直同期信号
XGA (1024x768)	00	負極性	負極性
WXGA (1360x768)	11	正極性	正極性
Quad-VGA (1280x960)	11	正極性	正極性
SXGA (1280x1024)	11	正極性	正極性
SXGA+ (1400x1050)	01	負極性	正極性
WXGA (1280x768)	01	負極性	正極性
WXGA (1280x800)	01	負極性	正極性
WXGA (1366x768)	11	正極性	正極性
WXGA+ (1440x900)	01	負極性	正極性
WXGA++ (1600x900)	01	負極性	正極性
720P (1280x720)	11	負極性	正極性
1080P (1920x1080)	11	正極性	正極性
UXGA (1600x1200)	11	正極性	正極性
WUXGA (1920x1200)	10	正極性	負極性
WSXGA+ (1680x1050)	01	正極性	負極性

【表 4.32】アップコンバータ出力の同期信号の極性

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可



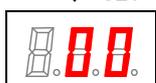
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F34 を選択

↓ SET キー



—+キー : 同期信号極性設定 (00, 01, 10, 11

左の桁が水平同期信号の極性

右の桁が垂直同期信号の極性)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.33 アナログRGB入力 同期信号終端

アナログ RGB 入力の同期信号の終端を設定します。1 に設定すると 75Ω で終端し、0 に設定すると終端しません。設定した値はアナログ RGB 入力の入力端子毎に記憶されます。

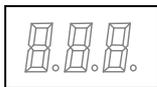
・入力同期信号終端 (00, 01, 10, 11 ※初期値 00)

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	△	×	×	△	×

○ : 設定可 × : 設定不可

△ : アナログビデオ入力を選択している場合のみ設定可 (アナログビデオ入力の選択は 14 ページをご覧ください)



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F35 を選択

↓ SET キー



—+キー : 同期信号終端設定 (00, 01, 10, 11

左の桁が水平同期信号の終端

右の桁が垂直同期信号の終端)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.34 映像信号無入力時の出力映像

選択されたチャンネルから映像信号が入力されていない場合に出力する映像を選択します。ただしディップスイッチのスイッチ 4 を ON に設定している場合は同期信号が出力されないため、モニタには何も表示されません。またチャンネルに OFF を選択している場合は、設定に関係なくブラック画面を出力します。

- ・ディップスイッチのスイッチ 5 で選択した映像を出力 (設定値 = 0 ※初期値)
- ・バックカラー(P.43~45)で設定した背景色を出力 (設定値 = 1)

本メニューの設定	ディップスイッチ スイッチ 5 の設定	出力する映像の色
0	OFF	ブルー
	ON	ブラック
1		背景色

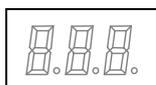
【表 4.34】 映像信号無入力時の出力映像

※RGB 無入力時に、CH 1、CH2、CH3、CH6(アナログ RGB 設定の場合)を選択した場合はモニタには何も出力されません。ディップスイッチのスイッチ 1 を ON にすることで設定した映像を出力することができます。

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F36 を選択

↓ SET キー



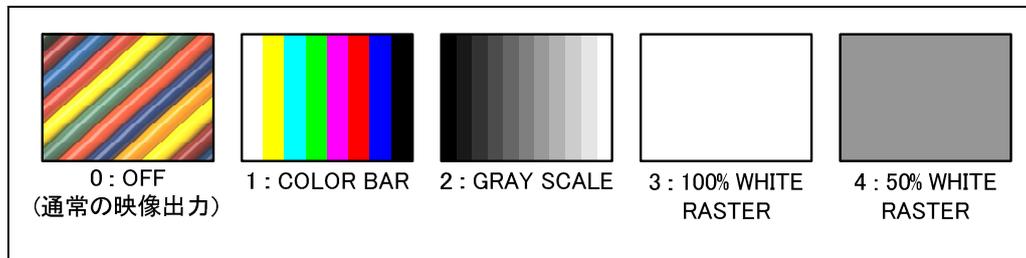
—+キー : 出力映像設定 (0=ディップスイッチのスイッチ 5 で選択した映像を出力, 1=バックカラー(P.43~45)で設定した背景色を出力)

↓ SET キー : メニュー戻り

4.35 テストパターン出力

テストパターンを出力します。テストパターンは、アップコンバータ出力解像度メニューで設定した解像度で出力されます。(解像度の設定は 24 ページをご覧ください)この機能を有効にすると、通常の映像出力の代わりにテストパターンが表示されます。

・テストパターン (0~5 ※初期値 0)

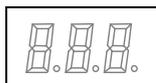


【図 4.35】 テストパターン

以下のチャンネルを選択している場合に設定を行うことができます。

CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	OFF
○	○	○	○	○	○	×

○ : 設定可 × : 設定不可



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



—+キー : F37 を選択

↓ SET キー

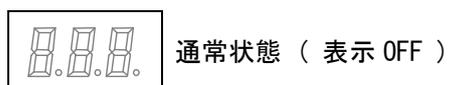


—+キー : テストパターン設定 (0=OFF, 1=COLOR BAR, 2=GRAY SCALE, 3=100% WHITE RASTER, 4=50% WHITE RASTER)

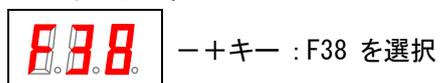
↓ SET キー : メニュー戻り

4.36 バージョン情報表示

本機のファームウェアのバージョンを表示します。



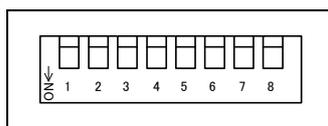
↓ SET キー



↓ SET キー



5 ディップスイッチ



スイッチ	機能	OFF	ON
1	アナログ RGB 入力の同期信号監視	監視しない	監視する
2	未使用	未使用	未使用
3	アナログビデオ入力の切り換えモード	速度優先モード	シームレスモード
4	映像信号無入力時の同期信号出力	出力する	出力しない
5	映像信号無入力時のブルー画面出力	ブルー画面	ブラック画面
6	入力チャンネル 3(CH3)の切り換え	アナログ RGB 入力	アナログビデオ入力
7	ラストメモリ	ラストメモリ有効	ラストメモリ無効
8	ブザー音	ブザー音 ON	ブザー音 OFF

※ 出荷時は全て OFF になっています。

スイッチ 1： ON に設定すると、アナログ RGB 入力に接続する機器からの同期信号を監視します。同期信号は HS/VS または CS のいずれかに対応しており、いずれも入力されていない場合は映像信号が入力されていないと判断し、スイッチ 4 の設定によってアップコンバータ出力の解像度で同期信号が出力されます。

アナログ RGB 入力に、YPbPr やパソコンの Sync-On-Green など、本機が対応していない同期信号を入力する場合は OFF に設定してください。ただし OFF に設定した場合は同期信号の監視を行わないため、アナログ RGB 入力を選択したときにスイッチ 4 の設定は無効になります。(アナログビデオ入力を選択した場合は有効です)

スイッチ 2： 未使用

スイッチ 3： アナログビデオ入力の切り換えモードの詳細は、14 ページをご覧ください。

スイッチ 4： OFF に設定すると、選択されたチャンネルから映像信号が入力されていない場合に、アップコンバータ出力の解像度で同期信号が出力されます。

スイッチ 5： スイッチ 5 の設定は、映像信号無入力時の出力映像(59 ページをご覧ください)が 0 に設定されている場合のみ有効に機能します。OFF に設定すると、選択されたチャンネルから映像信号が入力されていない場合に、ブルー画面を表示します。ただしスイッチ 4 を ON に設定している場合は同期信号が出力されないため、モニターには何も表示されません。またチャンネルに OFF を選択している場合は、スイッチ 5 の設定に関わらずブラック画面を出力します。

RGB 無入力時に、CH 1、CH2、CH3、CH6(アナログ RGB 設定の場合)を選択した場合はモニターには何も出力されません。スイッチ 1 を ON にすることで 59 ページで設定した映像を出力することができます。

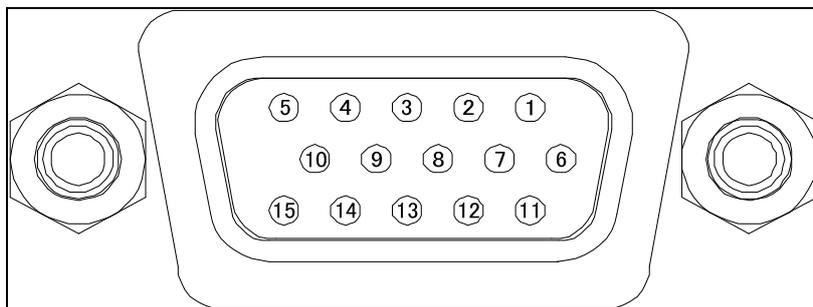
スイッチ 6： 入力チャンネル 3(CH3)の切り換えの詳細は、14 ページをご覧ください。

スイッチ 7： OFF に設定すると、出力の選択(14 ページをご覧ください)および各種設定(19 ページ以降をご覧ください)を変更した場合に自動的に記憶し、次回電源投入時は記憶された設定で起動します。ON に設定すると、電源投入時は工場初期値で起動します(EDID のコピーデータも削除されるのでご注意ください)

スイッチ 8： OFF に設定すると、キー操作が正常に行われたときにブザーが鳴ります。また操作できないキーが押された場合は、ブザーが 3 回鳴ります。

6 映像入出力コネクタピン配列

映像入出力コネクタのピン配の詳細については下記の通りです。



[図 6.1] 映像入出力コネクタ

[表 6.1] 映像入力コネクタピン配

ピン番号	信号名
1	RED VIDEO
2	GREEN VIDEO
3	BLUE VIDEO
4	-
5	GND
6	RED GND
7	GREEN GND
8	BLUE GND
9	+5V INPUT
10	SYNC GND
11	-
12	DDC_SDA
13	Hsync
14	Vsync
15	DDC_SCL

[表 6.2] 映像出力コネクタピン配

ピン番号	信号名
1	RED VIDEO
2	GREEN VIDEO
3	BLUE VIDEO
4	-
5	GND
6	RED GND
7	GREEN GND
8	BLUE GND
9	+5V OUTPUT
10	SYNC GND
11	-
12	DDC_SDA
13	Hsync
14	Vsync
15	DDC_SCL

※ 9ピン、12ピン、15ピン以外はスルーになります。

※ 本機を使用する際には12ピン、15ピンが使用可能なケーブルをご使用ください。

7 製品仕様

仕様は予告なく変更することがあります。

入力信号	
アナログ RGB	4 系統 (フロント 1 系統, リア 3 系統) 2 系統はアナログビデオとの切替使用 高密度 Dsub15 ピンコネクタ ビデオ信号: 0.7Vp-p / 75Ω 同期信号: TTL レベル 周波数特性: 330MHz にて -3dB プラグアンドプレイ: DDC2B 対応 (内蔵 EDID データ/モニタより読み込んだ EDID データどちらか選択可能) ※内蔵 EDID データは以下より選択可能 XGA/WXGA (1280x768) /Quad-VGA/SXGA/SXGA+/WXGA (1360x768) /WXGA (1366 × 768) /WXGA+/WXGA++ (1600 × 900) /WSXGA+/UXGA/WUXGA/720p/1080p ※WUXGA は Reduced Blanking のみ対応
アナログビデオ	4 系統 (フロント 1 系統, リア 3 系統) 2 系統はアナログ RGB との切替使用 VBS 信号: 1.0Vp-p/ 75Ω RCA ピンジャック 信号フォーマット: NTSC または PAL
音声 L/R	7 系統 (アナログ RGB 用 3 系統, アナログビデオ用 3 系統, アナログ RGB/アナログビデオ共用 1 系統) アナログ RGB 用 1 系統とアナログビデオ用 1 系統は切替使用 アンバランス信号 RCA ピンジャック 6 系統, ステレオミニジャック 1 系統 24 k Ω 音声最大入力レベル: +13dBu
出力信号	
アナログ RGB	1 系統 × 2 分配出力 高密度 Dsub15 ピンコネクタ 1 系統, BNC コネクタ (R, G, B, HS, VS) 1 系統 ビデオ信号: 0.7Vp-p /75Ω 同期信号: TTL レベル
音声 L/R	1 系統 × 2 分配出力 アンバランス信号 RCA ピンジャック 75Ω 電子ボリューム付 音声周波数特性: 20Hz~20KHz にて ±1dB SN 比 85dB 以上 クロストーク 85dB 以上 音声歪率 0.006%以下

機能	
アップコンバート部	アナログビデオ→アナログ RGB (XGA, WXGA (1280x768), Quad-VGA, SXGA, SXGA+, WXGA (1360x768), WXGA (1366 × 768), WXGA+, WXGA++ (1600 × 900), WSXGA+, UXGA, WUXGA, 720p, 1080p か ら選択) ※WUXGA は Reduced Blanking で出力します。 I/P 変換方式: 動き適応型 I/P 変換
その他	画像調整機能 (ブライトネス, コントラスト, エッジ強調, 表示位置, 表示サイズ, アスペクト) 3次元 Y/C 分離 音声レベル調整 ラストメモリー テストパターン EDID エミュレート機能

その他	
電源電圧	AC90-250V, 50/60Hz±3Hz
消費電力	約 21W
外形寸法	430 (W) × 44 (H) × 200 (D) mm (EIA ラック 1U, 突起物含まず)
質量	2.7kg
使用温度範囲	0~+40°C
使用湿度範囲	20~90% (但し結露なきこと)
保存温度範囲	-20~+80°C
保存湿度範囲	20~90% (但し結露なきこと)
付属品	電源コード、ラック取付金具

※付属の電源コードは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

8 故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上、(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-

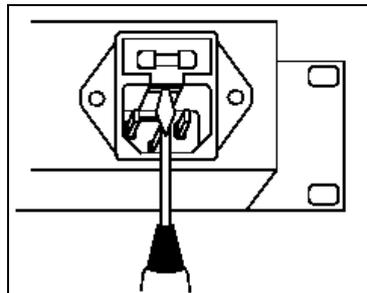
株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

9 ヒューズについて

本器には「5×20mmガラス管ヒューズ」が搭載されています。何らかの原因により、機器の回路ショートや回路部品の故障が発生したときはヒューズが切れて本器に過大電流が流れることを防ぎます

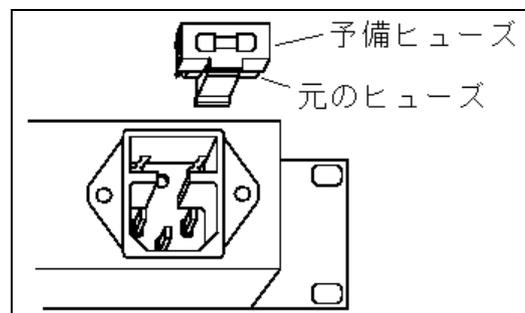
本器の電源が入らない時、ACインレット内のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は次の方法でヒューズを交換してください。

1. 本体の電源スイッチをOFFにして、コンセントからACケーブルを外します。
2. ACインレットからACケーブルを取り外します。
3. ACインレットのACケーブル接続部分にある凹部をドライバー等で引き出して、ヒューズホルダ部分を取り出します。



【図 9.1】ヒューズホルダ

4. 予備のヒューズと交換します。



【図 9.2】ヒューズの交換

5. ヒューズホルダ部分を元通りにセットします。

※交換してもヒューズが切れる場合は故障の可能性がありますので、弊社までご連絡ください。



株式会社 アイ・ディ・ケイ
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765
月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

発行日 2012年06月27日 Ver.1.0.0_A
* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。
* 本書の無断転載を禁じます。